臺灣昌新報（夕刊）
七月一日
發行所 臺灣昌新日報社
社長 佐々木人
臺北市日吉町二丁目四番地
電話 2033・5008

小兒牛乳

# 保停を完全占領
## 海南島殘敵の本據

【東京二十日發同盟】最近の勝次に依り中央山脈地帶に蹶起せられた海南島の殘敵は去る五月初旬の大討伐に依り最大の據點を失ひ部山脈地帶の要衝保停、樓崗に主力を移し其處より南方臺灣國境內に警戒を續けつゝあるが重慶特派陸軍武官發表に依れば敵の目的を以て二十六日朝來保停より行動を起し攻撃を開して保停公路を進擊、海軍機の協力の下に敵の小拠點を掃蕩して二十七日午後三時保停を完全に占領、引續き附近一帶を掃蕩中である敵は退却に際し市內に火を放ち市街は今猶ほ盛んに燃え續けてゐる

# 荒鷲各地に猛爆

陸の西方內陸の敵根拠地を衝き同飛行場施設の軍事施設及び市街軍事施設を徹底三所を炎上せしめ全機無事歸還せり

## 海鷲は南陽を奇襲

【上海二十日發同盟】艦隊報道部發表

中支方面において二十九日海軍航空隊はその一部をもつて敵大部隊の集結する河南省南陽を奇襲同地飛行場並軍事施設に大打撃を與へ全機無事歸還した

## 陸鷲は羅田、立煌を

【〇〇基地二十日發同盟】陸軍航空隊は大別山脈中に盤踞して氣息奄々たる敵殘敵に對し二十八九兩日にわたり三千五百キロの爆彈を投下して猛爆を加へ其の大半を炎上せしめ又羅田北方約七キロの敵兵營地及び大別山中の敵兵營地に對しても爆彈を投下して大打撃を與へた、前二回の攻撃に依つて未だ消えまらぬ羅田は二度びわが空軍の巨彈を浴びて市街の殘存建築物は殆んど灰燼に歸し又立煌は市內五、六ケ所より大火災を起し黑煙市街を覆ひ出火の狀を呈してゐる

# 英外交の動向
## 極東で日、歐洲でソに譲歩して自己保全

來ないことよりである、英國は歐洲ではソ聯に譲歩してドイツの脅威を輕減し同時に極東に對する餘力を擧げんとするも、又極東では日本に譲歩して日本の脅威と衰少し同時に歐洲における勢力を增さしめるものではない、凡ゆる否定にも拘らず英國外交政策が戰爭防止を口實に戰爭を企圖してゐることは餘りにも明かである、獨逸の征服に關するハリファックス外相の演說は又しても英國が獨逸最大の緊急要求が那邊にあるかに就き全然盲目なことを證明してゐる、從つて植民地問題解決の可能性に關するハリファックス外相の演說はべルリンでは單なる口實に過ぎないと考へられてゐる、要するにハリファックス外相と同の演說は再び英國政治系、英國國民通有の楽觀的氣分に依つて戰爭を許せんとしてゐることを證明したもので、それは平和にも國家關係の正常にも何等資與しないであらう

# 英國外交政策の戰爭防止は口實
## 伯林政界英外相の演說評

【ベルリン二十日發本社特電】ハリファックス英外相の二十九日英國外交政策說明會に於ける演說に關し、三十日ベルリン政界では從來の主張の繰返しに過ぎず一向に興味なく何等正義に貢獻するところがないとこれを黙殺してゐる、ベルリン政界の批判を綜合すれば左の通りである

英國外交政策說明會に於けるハリファックス外相の演說は德國が唱へられた說得力のない主張の繰返しに過ぎず、獨逸國民を納得させるものではない、凡ゆる否定にも拘らず英國外交政策が戰爭防止を口實に戰爭を企圖してゐることは餘りにも明かである、獨逸の征服に關するハリファックス外相の演說は又しても英國が獨逸最大の緊急要求が那邊にあるかに就き全然盲目なことを證明してゐる、從つて植民地問題解決の可能性に關する

# 我克船四隻
## 大陸との交通を許さる

【國際救濟會用】

【濟南一日發同盟】濟州移民政策の再檢討に就ては二回に亘り關係當局者が新京に會合し研究を開催して以來約半箇年この種消息の報道の絶へたるの觀あるが關係當局者の意見一致を見るに至つたので三十日午前十時より濟州日本領事館に月滿移民連絡會議幹事會を開き右政策の大綱を決定した、依つて來る四月中旬より新京において關係官民の懇談會を開催、引いて七月中旬日本側においては關係官民の懇談會を、滿洲側においては全體委員會を各々開催し以つて同政策の實現を圖ることゝなつた

# 滿洲移民政策の大綱を愈よ決定
## 四日に東京で懇談會

一、基本方針　滿洲開拓政策が日滿兩國の一體的重要國策たる點を强調し兩國の一體的實現、興亞の理想等を指導とする

二、名稱　從來の移民なる名稱は適當でないので今後開拓民又は開拓民等と呼び區別も農業業に從事するもの、或は單に農業に從事するもの、或は青少年義勇軍等に區分して日滿兩當局は各般の指導すべき責任の分野を明かにすると共に緊密に連絡し一體となつた開拓政策を行ふ

三、永住形態　集團入植と自由入植との形態を改めて集團、集合、分散の三形態とし擧げて入植する

四、土地問題　土地を開拓民に譲渡する場合自由方針を採め代々安定して農業に從事し得る所有形態を現定した點が特徴

五、青少年義勇軍隊　本部を新京に置き必要なる訓練を施すと共に義勇軍を編成その分團を各開拓地に配置し開拓民と共に生活式の改善、促進を期する

# 英泣きを入れる
## 福州の完全閉塞延期

【重慶二日發同盟】福州中央通信社電に據れば福州地方は二十八日夜より降り出した大雨未だ止まず為めに福、閩、沙渡及び閩江は二十五年來の大增水で二十日午後一時頃に福州南門及び江岸に浸水したため福州南門地方一帶は一面の泥海と化し閩江沿岸各地より搬出する木材の流出擴大し被害甚大である

# 和蘭內閣總辭職

【ハーグ二十日發同盟】コライン王はコライン現首相に再組閣を依囑した

# 福州市內泥海と化す

【重慶二日發同盟】福州市內は二十八日夜より降り出した大雨未だ止まず為めに福、閩、沙渡及び閩江は二十五年來の大增水で二十日午後一時頃に福州南門及び江岸に浸水したため福州南門地方一帶は一面の泥海と化し閩江沿岸各地より搬出する木材の流出擴大し被害甚大である

# 枚擧に遑なき
## 英側の暴行事實

【東京二日發同盟】二日附をもつて左の勅令が公布された

一、憲法第八條第一項ノ件（米穀局新設の件）

一、憲法第八條第一項ノ件（內閣情報部官制改正の件）

一、憲法第八條第一項ノ件（內閣書記官制改正の件）

# 米穀局新設の勅令公布

# 特別市政府要人

【新京二日發同盟】國都建設局長に任ぜられた門脇朝秀氏は左の如く發表された

市長兼任秘書　李思賢
市長　張燕卿
財政局長　金毓黻
教育局長　張燾　代理
建設局長　盧用賓
公安局長　林濟川
警察廳長　李賢厚　兼任
副廳長　佐野賢　同
參事官　李思賢

# 米穀局開局式
## けふ府正廳に嚴かに擧行

【新京二日發同盟】米穀局開局式は二日午後零時四十分より府正廳において開催された、定刻前、新米穀局長發任となつた田端義夫局長以下各部局長、各部長等出席、義夫局長は總裁全部代理として宣言書を朗讀、次で同局長は總裁より任命書を授與され次で總裁訓示があつた、次に總裁同局長及び各部局長等の記念撮影を終つて式を了つた

# 米穀局開局に伴ふ異動

今度の異動の認識地は米穀局の開設に伴ふ新定員の任命と企畫部設置の為の同書の變り換の二つで之以外は殆んどありふれたゆれ方に過ぎないがこれを總合的に觀察や他の部局からの轉入者に即時されたる為め成りの異動の特徴は何れも新設の企畫部長に田端義夫氏の起用と米穀局關係の分は二段に亘つから見ても米穀局關係の處たゞし企畫部の方は單に部下の人事の異動に過ぎないが為に却つて從來の局長の地位を持つ事となつた

# 便乘異動が有意義
## 米穀局開設に伴ふ異動評

今度の異動の認識地は米穀局の開設に伴ふ新定員の任命と企畫部設置の為の同書の變り換の二つで之以外は殆んどありふれたゆれ方に過ぎないがこれを總合的に觀察や他の部局からの轉入者に即時されたる為め成りの異動の特徴は何れも新設の企畫部長に田端義夫氏の起用と米穀局關係の分は二段に亘つから見ても米穀局關係の處たゞし企畫部の方は單に部下の人事の異動に過ぎないが為に却つて從來の局長の地位を持つ事となつた

# 事變滿二周年
## 十分な經濟的餘力と獨逸新聞が論說で讃ふ

【ベルリン二十日發同盟】ナチス機關紙フエルキッシャー・ベオバハター紙は來る七月七日の支那事變滿二周年を記念して二十日附紙上第二面に同紙極東特派員の支那事變に關する論說を掲げ、日本は支那事變開始以來着々成果を收めてゐる上論じた後、支那の開發は既に時日の問題だと結んでゐる、要旨左の通り

支那事變に關する世界の輿論は根本的に誤つてゐた、日本は擡頭する東亞の新秩序を建設するため支那に於て聖戰を遂行してゐるのであるが、この聖戰は單に軍事的のみが關係情勢の進展からでなく經濟的にも重大な意義を有してゐる、日本は支那事變開始以來着々成果を收めてゐるではないか、また所謂經濟上の譲歩をなすものは今日まで絶て無く、三回に亘る日本は從來の主張の繰返しに過ぎず一向に興味なく何等正義に貢獻するところがないとこれを黙殺してゐる、ベルリン政界の批判を綜合すれば左の通りである

英國外交政策說明會に於けるハリファックス外相の演說は德國が唱へられた說得力のない主張の繰返しに過ぎず、獨逸國民を納得させるものではない、凡ゆる否定にも拘らず英國外交政策が戰爭防止を口實に戰爭を企圖してゐることは餘りにも明かである、獨逸の征服に關するハリファックス外相の演說は又しても英國が獨逸最大の緊急要求が那邊にあるかに就き全然盲目なことを證明してゐる、從つて植民地問題解決の可能性に關するハリファックス外相の演說はべルリンでは單なる口實に過ぎないと考へられてゐる、要するにハリファックス外相と同の演說は再び英國政治系、英國國民通有の楽觀的氣分に依つて戰爭を許せんとしてゐることを證明したもので、それは平和にも國家關係の正常にも何等資與しないであらう

# 伊も痛烈に批判
## ハ英外相玆でも散々

【ローマ二十日發本社特電】ローマ政界ではハリファックス英外相が二十九日外交協會に於ける外交演說をもつて日には平和機關を唱へながら背後には戰爭を煽動する民主主義國の態度の表現であると

# 總督府人事異動
## 米穀局開設と企畫部設置に伴ふ

米穀局の開設並に同企畫部の設置に伴ふ總督府の人事異動は一日附で左の如く發令された

殖產局長　田端義夫
米穀局長兼務を命ず
（地方理事官兼務四等六級）
矢野　護三
任府理事官（殖產局長）
米穀局總務課長を命ず
同（殖產局長）
千葉　元江
任府理事官（殖產局長）
米穀局米政課長を命ず
同（殖產局長）
槇山　竹男
任府理事官（殖產局長）
米穀局業務課長を命ず
同（殖產局長）
大井　又次
任府理事官（殖產局長）
米穀局檢查課長を命ず
同（殖產局長）
小野　榮
任府地方理事官（七等九級）
殖產局長秘書官を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
佐藤　勝也
米穀局米政課長秘書官を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
千葉　元江
任府事務官（七等十二級）
米穀局米政課長秘書官を命ず
同（殖產局長秘書官）
槇山　竹男
任府事務官（七等十二級）
米穀局業務課長秘書官を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
大井　又次
米穀局檢查課長秘書官を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
佐藤　勝也
米穀局業務課長秘書官を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
宮尾　五郎
任府事務官（七等十二級）
米穀局檢查課長秘書官を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
千葉　元江
任府事務官（七等十二級）
米穀局業務課長秘書官を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
槇山　竹男
任府事務官（七等十二級）
米穀局檢查課長秘書官を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
大井　又次
任府理事官（七等九級）
米穀局檢查課長を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
佐藤　勝也
任府理事官（七等九級）
米穀局業務課長を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
宮尾　五郎
任府理事官（七等九級）
米穀局檢查課長を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
千葉　元江
任府理事官（七等九級）
米穀局業務課長を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
槇山　竹男
任府理事官（七等九級）
米穀局檢查課長を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
大井　又次
任府理事官（七等九級）
米穀局業務課長を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
佐藤　勝也
任府理事官（七等九級）
米穀局檢查課長を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
宮尾　五郎
任府理事官（七等九級）
米穀局檢查課長を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
千葉　元江
任府理事官（七等九級）
米穀局業務課長を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
槇山　竹男
任府理事官（七等九級）
米穀局檢查課長を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
大井　又次
任府理事官（七等九級）
米穀局檢查課長を命ず
府屬（殖產局長秘書官）
佐藤　勝也
任府理事官（七等九級）
米穀局業務

# 忠靈顯彰會の發會式に
# 秩父宮高松兩宮殿下御成り
## 來る七日軍人會館で盛大に擧行

宮内省御貸下

# 清宮貴子内親王殿下の御近影

【東京一日發同盟】支那事變に際し戰歿した將兵の忠靈顯彰會發會式は來る七日午前十時から九段軍人會館で擧行されることになつた、同會は國家的事業として國民に呼びかけることになつた、同會は國家的事業として國民に呼びかけることになつた、同會は國家的事業として國民に呼びかけ

# 健康兒童は どうして育てられるか

## 夏こそ健康建設の好機

世の多くの母親はすべて愛兒を健康に育て、丈夫な體をもつ立派な大人につくりあげたいと望まぬものはないのでありますが、今日の時勢では子供は家の寶であると共に國の寶であり、日本の將來を背負つて起つ心き戰士といはねばならるのでありますから愛兒の健全な發育を期することは一身一家のためといふよりも、擧げて國家の立場から眞に擧國のためになる健康な國民に仕上げねばならぬのであつて、子供の愛育は從來より一層ひろい意味が加はり、母親のすべてに一層重い國家的任務を背負されたことを覺悟すべきであります

×

子供の健康は其の背後に、遺傳といふ大きな力が控へてゐることは申すまでもないが、丈夫な素質の子供でも、後の養育が悪いと病弱な子供となり、反對に生來病弱な子供でも生後の育兒その他に十分なる注意が拂はれたなら健全な子供として育て上げることが可能であります

生後に於て愛兒の健康に及ぼす影響として自然の環境と教育の問題との二つの方面が考へられるがいづれが重し、輕しとはいへない點と自然の環境は教育の問題と二體となつて、或は子供の健康に時に病弱に陷らしめるのでありますから、育兒の要點は之等の出來得る限り惡條件を除に利用して子供の健康に十分役立たしめる樣工夫することでなくてはならないのです

×

一般的には都會の生活は自然の環境に惠まれ教育の生活が教育の環境に惠まれてゐるのですが、健康兒童の家庭から云へば、多くの場合は、自然の環境に惠まれた郊外の農村の中から發育多數の健康兒を出してゐるのは、この間の消息を最もよく物語つてゐます。併し大都市にあつても、自然の環境は育兒の注意によつて絕對に除られないものではなく、醫師と兩親との協力と教育の原則は、世間の注意により十分な、の診察を育兒の上に及ぼすことが出來るのは云ふまでもないのです

自然の環境としては、すべての生物が、その發育になくてはならない日光と空氣の十分であることです。それで都會に於ては、つとめて郊外に公等の自然の環境を求めなくてはならぬ。教育の環境として、健康の見地からは、まとして發養と運動との適切なる指導ですが、他の凡とすべての健康兒童に共通する根本の原則といへます。特に乳兒については、榮養による榮養の缺陷に留意して、所謂榮養食を主とするよりも寧ろ何でも食べよの方針で努めて食物の種類を擴大することに重點をおき、その間食から間食をつつしみ、食物の攝取を規律ある生活の中に實踐せしむることが肝要です

×

その他衣服の衞生、運動と遊戲等、子供の健康を中心に注意すべきでありまます。以上はごく大體でありますが、夏を迎へるに當つて

## 溜飲の原因

### 食餌上の注意いろ〳〵

**皆**　さん、むねやけはいたしませんか、ここに溜飲の病因について、東大醫内科講師醫學博士のお話を掲げませう

◇

**更**　むねやけ（溜飲）はなく胃液の酸度、殊にその中に含まれてゐる鹽酸の量の多い時に起る症狀です從つて胃酸過多症、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃擴張などの患者は多く溜飲を訴へるものです。しかし胃の酸度が多いからといつて必ず溜飲を起すとは限らず、人の體質或は體質によつて異ひます

**まず**　たま〳〵より或は一定の食事により溜飲を起すことがあります。例へば手術の過食後の溜飲、アスピリン服用後の溜飲がこれです。この場合は手術或はアスピリンによつて多量に分泌される胃液のために起るのです。手術は主として胃水腫等ですが、胃水腫等の一般に胃の酸度の高い時には溜飲が惡くなり、不消化の狀態でなくとすぐに溜飲を起し、溜飲の原因になるわけです。

**これは何でせう**　ずゝ何かを塗り替へでもするやうな結好ですが、これが新しい脚の美容術だと聞いたらすぐでせう、むだ毛を無くする藥をぬつてゐる所です。二本の脚の間に見えてゐるのがルビンシュタインポーランド生れで、ヨーロツパからアメリカ、カナダ、オーストリアと十箇所の美容院へもち廻週飛行機でかけ持ちで廻つてゐると言ふのだから美容師も樣變がゆしばかり大きいですね

**同一屋**　注意し、傳染病から愛兒を守り、海に山に、夏の樂しい戸外の日光と新鮮な空氣がみち〳〵てゐますから健康の增進の好機であります。子供は練體に近い榮養にし藥や果物など發育に必要な食物が市場に溢れる時であるから之を大に攝取するといゝです

私達はこの夏に際して、自然を背景とした愛兒の健康と榮養する事に致しませう

**消**　飲はこのやうに種々の場合に起るので不注意に放置するとひどい目に遭ひます

**四**　歲以上の溜飲が絕えずある人は胃腸や胃潰瘍の有無を、二十歲以上の人は胃腸や十二指腸潰瘍の、十歲代の胃腸も時にはあるから）有無を醫師に診て貰ふことが必要です。二十歲以下はこの種の重病の場合は稀ですが、小兒でも潰瘍の時があり、又腸結核などの續發のために起ることもあります。以上の病氣のない場合は大多數が溜飲の體質多症で、無酸症の場合は少ない。

**胃**　酸過多症は食餌に注意する事が第一です。胃酸過多症の胃は胃酸が過剩で分泌能が亢進してゐますから刺戟物を避けることが必要です。胡椒、山椒、辣子等の香料多數の酸類例へば醋酸（酢）枸橼酸（果物）等又酸辣きもの（酸れ、香物）その他肉エキス（ビフテキのやうな物肉はエキスの分が多いので悪く煮た方がエキスの分がゆくて良い）とかコーヒー、酒、煙草などを禁することです。

**煙**　草をやめることが出來ない場合は、食後だけにしてなるべく空腹時は嚴禁するやうにしまう。以上は化學的に胃を刺戟して胃酸を過剩に分泌させるものですが、胃は更に機械的にも刺戟されて胃酸を分泌します。例へば果物の皮とか木實纖維の多い野菜、硬い食等の場合です。一般に胃酸の多い時には酸に對する抵抗がわるいからこの點を考慮して食物をえらぶ必要があります。もし藥劑を使用するとすればアルカリ劑、例へば重曹とか制酸劑マグネシア等が最も安く簡便です。

**育モメ兒**

**赤ちやんの耳垢**　ごく小さい赤ちやんは耳垢が多くて耳の孔を塞いでしまふことがあります。これに氣づかずにゐるときは丁度つんぼのやうに耳が聞えなくなるとふことがあります、特に耳垢がかたく〳〵して耳にたれない時には、いつも洗ひ出す程に溜つてゐる場合は綿棒に注意して脂肪の軟で上手に拭き除つてやらねばなりません、この分泌物が大變多くて異臭のあるやうな場合は必ず耳の中に放膿があるのですから是非共その手當をしなければなりません一番手輕な方法はオキシフルを脂肪を綿の先きにつけてきれいにその分泌物を拭き除つてやることです、勿論重いときには醫師の手當が必要です、これは入浴のときに、耳に水が入つたりあまり泣かせて涙が流れこんだりしたために外耳炎や中耳炎を起します

**鼻**　繃帶の卷ける時には、必ずよく洗ふことです、繃帶にもよるが、半分くらゐまでは工合よく卷けても、あとは、蓄が出つて、なか〳〵切りにくいものです。その時は、一旦繃帶を切り、二三分間らないところを殘して留めてまた、そこから切つてゆきますと、容易に切れますそれで一口に溜飲といつても種々の原因があるわけです。

**卷

# 魯西亞船

(65)

土師清二作

坪内節太郎畫

オロシヤ(九)

艦隊寺の門の外に立つて、途方に暮れたやうに、お幸は四辺を見廻はしてゐたが、呆然してはゐられないと思ひ、取も角、山門を入つた門の側で、繃帯を買つてゐる饅頭屋さんに、

「お釣りでございますか、お繃帯をおとり下さいまし」

さういはれると、お幸はお繃帯を買ひ、四十七士のお墓へ詣つたお寺に行く前の小高い一隅にあつた。

墓地全體の大きな感じに比べて小さい四十七士の石碑が、生前の身分の順によつて並んでゐたお寺に、物馴りをしてはいけないと聞いてゐるので、お幸は四十七士のお墓に對して悪いことをしてゐる氣がしてならなかつた。心で、お詫を云つて、線香を上げ、合掌してゐるうちに何時の間にか「どうぞせて頂けますやうに」と祈つてゐるのであつた。

義士のお墓へ、飛んでもない願をかけてゐるお幸は、最初に、自分のお詫を祈らずにはゐられなかつたのだ。

お墓の圍の外へ出たお幸は、廓内を山門の方へ引返した。門の外で、日傘を買はうとして、下駄屋のところを見てゐたときであつた。

二人の武士が、附いてゐて、お幸を窺ふと見てゐるのだつた。

お幸は、驚が止まつたかと思はれるほど驚き、不安に襲はれて、眞つ直ぐ歩くことも出來ないで俯向いてしまつた。

(嘘の人ぴだ。似てゐる……いゝえ、あの人ではない……)

火事場のやうに胸が激しく動悸をうつお幸は、打ちのめされさうになつたその時へ、聲音が聞えてきた。

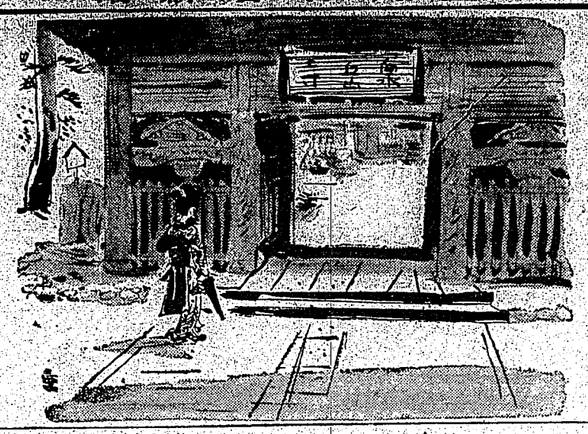
お幸は、悪いものに追られてゐるやうな切迫した心地で、附近きながら、眼を開けて地面を見た。白砂を撒いた地面に、くつきりと男の影が落ちてゐた。その影は次第に身丈くなつてくるのだ。

「お幸……お幸さんだね」

黒助の聲である。

「あゝ……」

呼ばれやうに振返つて、お幸は二聞吾言れた。うれしさとも哀しさともいひやうのない氣持で、膝が慄くなつた。何よりも大きな安堵れた心地が、お幸を襲はうとする



きとし、膽を潰かせるのだ、と思つた。

「本當に黒助は死んだ。黒助は黒助のままで死なうとしたのです。それを思ひ止まらせた嬢さんがあつた……」

「そんな……わたし……」

「黒助は死んだが、有川襲介として生れ變つたのです」

## カナ文字ニュース

▲油頭ヲ セメオトシタ ワガ リクグンブタイハ、二十九日ノゴゴ 澄海ヲ センリヤウ、ヒノマルノハタヲ ソラタカク ヒルガヘシマシタ。油頭、潮州ノ イクサニヤ ブレタ シナグンハ、センサウヲ ツヅケヨウ トイフ キモチガ スッカリ ナクナツテシマヒ、テッパウヤ タイハウヲ ステテドンドンタイキャクヲ ハジメマシタ マッテキマシタ。ソレデ サクネンノ アキ、ワガクニカラ ボウフラヲ タベルメダカヲ オクッテ アゲマシタ。コトシハ メダカノ カズガ フエテ、カガ スクナクナッテ キタノデ、コノマヘ ミナミアフタイ」ト オレイヲ イッテ オチャヲ ノミマシタ。

▲ミナミアフリカニハ ビヤウキヲ ウツス ワルイ カガ タクサン スンデキマス。コノカニ ササレルト マラリアニ カカルノデ、アフリカノ ヒトタチハ タイヘン コマッテキマシタ。ソレデ サクネンノ アキ、ワガクニカラ ボウフラヲ タベルメダカヲ オクッテ アゲマシタ。コトシハ メダカノ カズガ フエテ、カガ スクナクナッテ キタノデ、コノマヘ ミナミアフタイ」ト オレイヲ イッテ オチャヲ ノミマシタ。

▲ミナミアフリカニハ ビヤウキヲ ウツス ワルイ カガ タクサン スンデキマス。コノカニ ササレルト マラリアニ カカルノデ、アフリカノ ヒトタチハ タイヘン コマッテキマシタ。ソレデ サクネンノ アキ、ワガクニカラ ボウフラヲ タベルメダカヲ オクッテ アゲマシタ。コトシハ メダカノ カズガ フエテ、カガ スクナクナッテ キタノデ、コノマヘ ミナミアフリカカラ ワガクニニ オレイノ テガミガ トドキマシタ。

## 天の川と七夕の話

(中)

藤澤衛彦

原始時代の人達には、天の川の東西に橫はる二つの巖巒の壁を、二千年前の傳説的な女神が通つた痕跡があるといふ話がいくつかあつたのをいつた。

七夕の宵祭りなどは、明日を、たつて一年はなかけむ天の川機津女と牽牛星とが逢ふ夜の晩の雷雨や彦星の櫂の音などの夜の更け行けばなどと十歳百の七夕物語を題材にした「星」に關係ある歌を作らしめてゐる。

★　★

日本のこの二星に對する呼び名、織女星に對して機津女、牽牛星に對しては彦星などとよんでゐるが、

★　★

一年に一度の星祭の傳説はかうした經過のもとに語られ繼がれてきたものです。支那にあつては戰國時代から漢、唐の時代を經て續々と變つて來たもので、その頃又七夕を中心とする仙人物語の脚色されるものを見たが、日本には彦星と織女の傳説が獨立なして民俗の中に根をおろし、時代の經過とともに七夕に物さまざまな支那の風俗の條式を日本化し、王朝時代から一つの行事となしめた

## 臺日柳壇

選者　塚越 正光

彈丸除けを召さるる御身の腹へ巻き

北投 劉 昌仁

亡き母の慈愛の恩に涙で笑ひ

嘉北 成田 絢子

戰爭があるのか銃後平和なり

花蓮港 吉田 白人

住民親友の轉出當てになれ

嘉北 阪部 史朗

萬歳に合掌奉祝祈られ

嘉北 興村義代子

英國は東に西に慌てだし

嘉南 並木 洋子

見る人々あると飛入臺に立ち

新竹 秋水 明

重傷の敵は聖人を縛かず

嘉北 小山 纏中

醫官長官部署も交せて武勇談

嘉北 渡邊ミヨ子

握り締る銃へ勇士の血が滲り

嘉北 渡邊ミヨ子

藤籠へ子供の好きな物を上げ

嘉北 渡邊ミヨ子

中元を贈るにも悩む氣の弱さ

屏東 正光

## 釣

△基隆　港内　波靜かに旭橋、公會堂下で二年もののチヌがよく釣れる　釣果

△淡水　潮が干ると小川附近からぼつぼつ釣れる　釣果

△金山　波靜かに旭橋、公會堂下で二年もののチヌがよく釣れる　釣果

△頂双溪　川上四折附近の岸は好網有望

△宜蘭庄　羅前に放流する交流は漫々工合、水量豊庄よく釣れる　釣果

△臺北　波靜かにて大物狙ふうすボラが群をなして遊ぶも引網やら投網打つ為め一尾も釣れず

△大里　最近クチビ網、チヌがよくかゝる。餌はゴカイ

△集山　波靜か外潮巻りでキスがよく釣れ、大袋巻りでキスが松網、アラ、ヂヌ有望、餌はゴカイ、ヂヌ有望、餌はゴカイ、ヂヌなき食用魚のこと

△頭圍　川口附近のキスは春目下好調

## 講談社の繪本

(第二回配本)

講談社の繪本發賣開始は「桃太郎と海國男子」「大江山の三勇士」「繪手本と同日繪」の三冊を發賣五十錢である。右の中最も有望なのは、何と云つても繪手本と花川多喜、牧野勇助、津田正彦先生が、熱意を捲つてゐる外、小學兒童「獨り供、兒童の繪をも餌附けてゐるから、兒童の物を見る眼を養ふため、想像力を養ふためにも、其他效果の點に於ても繪手本は最も要望されてゐることであり親外物としては上乘のものであらう、特に繪の面白眼目には各國の風俗の描き方に於ても、一頁毎にその國の風俗を描いたものであり、一頁毎にその國の風俗を描いたものであり、一頁毎にその國の風俗を描いたものであり

（第二版）（明治卅一年三月九日第三種郵便物認可）　昭和十四年七月二日（日曜日）　臺灣日日新報　第一万四千七百十四號（二）

# 臺灣日日新報

日本刊分共二十頁
賀　木々佐　人行設發報編
臺北市榮町三丁目四番地　臺灣日日新報社
電話代表五八〇一番　所在地
振替口座臺北二〇三三番　臺灣日日新報社
定價　本一部金六錢・一ヶ月前金壹圓五拾錢
圓（日本國內及支那各地共）　一行十五字　壹圓五拾錢
廣告料　特別一行　壹圓五拾錢　普通一行　五拾錢

# 八月に重大危機
## 羅馬外交界の觀測

## 歐洲情勢一段惡化

【ローマ三日發同盟】二十九日のリブアクス英外相獨逸の會見に異へ驚じは強めて居く、會見は僅か然これに反驚と加へ、はじめ、歐洲の情勢は一段と惡化の影響である、從來ダンチヒと及び獨逸問題で他國してゐた英獨の感情がひは獨伊間に內面的接近を續けて來たチニス問題とともに、英國化せんとする時の會談にしてゐる、この會談をするに於ては現在の危險せる不安な氣分は除くその實現に際し、八月には最も重大な危險が來るのではないかとの觀測がローマ外交界で行はれ

## ダ市問題も惡化
### 波蘭が獨逸へ警告

【ロンドン廿日發同盟】ダンチヒと國際問題化と共に目下ロンドンリで流布されてゐる有力情報によればドイツはダンチヒとの併合に當り先づポーランドが武力に訴へなければならぬやう仕方を取り、これがため先づ國際聯盟より七月二十日頃ダンチヒに乘込むのではないかと云はれてゐる

【ワルシャワ二十日發同盟】最近ダンチヒと問題を繞る國境問題

はじめてゐる、その危險に於て獨伊が英佛の猛的緊迫の道を何處に發見するか、また英佛の關係に於てその危險を如何に避けんとするか、これ等は現在東京で行はれてゐる日英會談及びモスクワでの英ソ會談の結果とも關係があり、今から豫測するのは困難であるが少くとも獨の包圍政策の破綻は明かにされる時は英佛の關係は一層緊密化するものと見られ、從來の關係に於ては獨伊の對英佛關係の破綻は一層困難となり、英佛は開戰の危險に對し、更に一歩を進めるであらう、と云ふ見方もある、風雲を孕んだ歐洲の緊迫の情勢は次ぎ、日英交渉の成否如何に關係なく歐洲は刻々重大化しつつある如くである

## 總動員業務事業設備令公布

【東京二日發同盟】國家總動員法第十六條の規定に依る總動員業務事業設備令は閣議可決を經て一日勅令をもつて公布された、來る十日より施行される

## 援蔣政策は直に撤回せよ
### 佛タン紙論ず

【パリ二十日發同盟】二十日のタン紙は佛佛問題に關する論說を掲げ支那事變は世界戰爭にまで擴大する危險があるから速らに事變を局部化せねばならぬと次の如く述べ世人の注意を促した

# 賀屋前藏相が講演
## 戰況の祕密保持の爲

賀屋氏は二十二日午前十時から大阪倶樂部の國策研究會主催の五日經濟懇談會に臨み大阪財界の人々二百餘名の出席者に對し政府の物價統制大綱について二時間餘りの講演をなした（寫眞は賀屋氏の講演）

# 檢問强化の理由
## 英の頑冥不靈による

【天津一日發同盟】日本當局が在天津英國租界に對して强行したデ放送をなさしめ、或は暴行を加へ、又は英佛兩國人に對する挑戰的態度、支那人參加に對する

# 全外蒙に戒嚴令
## 戰況の祕密保持の爲

【ワルシャワ二十日發同盟】二十日ワルシャワに達した情報に依れば滿蘇國境の事件において從來ソ聯當局は對外的に無關心を裝つてゐたにも拘らず日本に手ひどい打擊を被つてゐる事實が漸く外務住民間に知れ渡つたため、國境方面の住民は動搖を來したと傳へられ、ソ聯當局は右の事態に鑑み戒嚴令を布告し、內蒙古全部に戒嚴令を施行した、右戒嚴令は內蒙古の住民に絕對服從を命じたと言はれてゐる

## ソ聯に嚴重抗議
### 北樺太のわが漁業利權に對する

【東京二日發同盟】北樺太のわが石油及漁業利權に對するソ聯當局の不法措置は益々深刻を極め過刊事件まで擴大したが遂に六月二十日ソ聯當局は右の事態に鑑み在ソ日本大使に訓令を發し、ソ聯側の不法措置の撤回方を交渉すると共に、ソ聯側の不法措置の撤回方を交渉すると共に、ソ聯側の不法措置の撤回方を交渉すると共に

# 臺灣一巡の感想

## 産業繁榮と移民政策に對して

## 水津臺銀頭取談

水津日銀頭取は、去る六月十九日より三十日迄の十二日間、坂本副總裁の歡迎の爲め内地より來臺中であつたが（本社の撮影）

【東京一日發同盟】遞信省發表に依ると郵便貯金は六月中に新規預入人員九十二萬五千三百二十四人、預金額九千七百二萬二千三百九十九圓を夫々增加し昨六月の四千五百二十九萬人員、七七、二二七、二七八　預金額　四、九四三、七七九、七四〇圓となつた

# 郵便貯金は激增

## 五十億圓にもう一息

# 大戰以來の新記錄

# 上期は大幅出超

## 事變下貿易調整の現れ

# 海運行政

## 自治より管理へ

## 百八十度の大轉換

### 遞相の二大方針登場せん

# 東京糖取は

# 解散か無期休業

## 一限以降は建てない

# 米管事業に對し

## 農民も希望を抱いて協力

## 田端米穀局長語る

# 租界内綿糸布商

## 四分の一が華街目租に移轉

### 商民金融の中心も移轉

# 勸銀の利下げ

## 宅建と組合貸付を輕減

# 米穀納入會社

## 臺北州が設立準備中

# 内外商況欄

## 新甫は薄上鞘發會

## 先高人氣さゞやか

# 過燐酸石灰

## 公定價格引上不容認

# 中部蓬萊米

## 出盛りに近し

## 正市の當限も山か

# 石灰窒素組合

## 値上げを申請

# 臺灣正米公定相場

# 臺灣米現物相場

# 島内商況

# 連續漫畫　頑張り部隊　（1）　麻生豐

マンゲツ・サイダー　滿月
特約店元町商會

防毒面
陸軍御檢査濟
昭和五年製
防毒服　定價三二五〇
定價甲八・二五　乙六・七五
定價甲一二・三五　乙九・八五
隔離式防毒面
檢知器一試驗管
台北市本町・台灣總代理店　竹腰商店　電話五七八八・六五六〇番

清酒　白鶴
台北　近藤商會　南門



お食事を始めました！
感じのいいこと飲物の美味いこと
天馬茶房
天馬茶房
台北・蓬萊閣通り
電話四五六三番



各市出張所長、店員募集　地方代理店募集
日本三業保成臺灣支店

# 科學の寶玉

## ドライアイスの魔力（上）

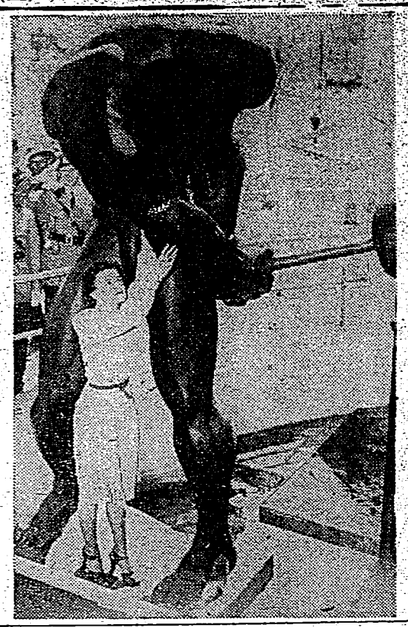
### ★季節にちなむ科學★

ドライアイスは多年わからなかつた後で漸く人間に役立つやうになつたが、最初は實驗室に花を咲かした物質のクラスに過ぎなかつたものである、例へば一般には今から丁度十年前に初めて生產されたアルミニューム位な研究室の好奇心より以上の何ものかになる前に五年間を待たねばならなかつたし、ヘリユームはそれが發見せられるずつと前に飛行船を膨らせてはゐたのである

ドライアイスとは何かといふとそれはエチル・アイスと異るのか？第一にそれは固形化された瓦斯であり、瓦斯は一酸化炭素であり、人間に知られてゐる最も有ふれたものの一つである、二酸化炭素の數百萬噸は毎日發酵の爐、工業用炭酸瓦斯の容器、石灰焼竈、酒の醱酵によつて發生されてゐる

×

第一にドライアイスはウオーター・アイスより約攝氏百四十二度も冷めたいのである、何故といつて瓦斯を固形に變形させるには非常に低溫度から處とされる、第二にドライアイスは液狀にすつかり變化するからである、何故といつてそれは液體を經ないで直接瓦斯に變化するからである、それは外見明るい日外から薄暗い室内へ飛込んだ時のやうなもので、よほど照明を强くしないと、總てがつかない、最近ヘーバード大學のロス・マクファランド博士が固體ニヂアンス博士と協力研究したところでは、一万五千ワイトの壓力を加へて壓縮に成功して一五〇ベーセントの固體量が必要であるといや。



時のシムボル　華盛頓に於ける"時"のシムボル像の除幕式

時によつて非常な高度を保ちつつ飛行する飛機のパイロットや搭乘者はしばく視力を減退される。明るい日外から薄暗い室内へ飛込んだ時のやうなもので、よほど照明を强くしないと、總てがつかない。最近ヘーバード大學のロス・マクファランド博士が同僚ニヂアンス博士と協力研究したところでは、一万五千ワイトの壓力を加へて壓縮に成功して一五〇ベーセントの固體量が必要であるといや。

## 高度と視力減退

### その原因は酸素の不足

實驗としては、世界の旅客中七四〇〇ワイトの高度で視力の減退を來たなかつたものは僅かに五名、それが二、〇〇〇ワイトでは過半數の二名となり、その一名も一万、〇〇〇ワイトでは空に落伍してしまつた、原因が空氣の稀薄に因る酸素の不足にあることは明瞭で、結局飛行家人によつて同實驗、愉快な空の旅を續けることができたといや。

## 朝顏の蔓が トンボを絞め殺す

### 南米にはこんな植物も

南米のアマゾン流域の熱帶原野には——恐ろしい植物一人を捕つて喰ふ……といふ"生兵"がゐると、さながら御話のやうな話が傳へられてゐる、これに關して植物學者は左樣なものとしてまた全部を認めるに吝らない

×

併し乘人の眼に映れて彼にやさしき夏の花"朝顏"が絞殺や其他の惡ふるもの變で容赦なく人に死に至らしめたといふ事實はこれまで聽きあつた事である、吾植物の中には此種は勿論、魚類は鳥、爬蟲などを餌にかけて、自分の榮養に供するといふ榮養なものである

×

ダーウインが、世にも不思議な植物とつた後の「食蟲草」は口を開いた蓋のやうに一蟲の來るのを待つて居り、すべて蟲の頭端から一列の細長い刺が圍のやうに内側に

## 一科學一小話

ノルウエーの醫師「ビチ薬」の發明によると、ノルウエーに於ける死因第一薬の資本の半は近くがイギリス資本によつて占められ製品の大部分がイギリスで消費されると

×

虱の發見については、發疹傷寒が流行するので、その媒介物が虱であるといふ事が判つたのである

×

それ計りか蚤に就ては發疹傷寒が發見されて、蚤の體の糞が發疹傷寒の病原體であるといふ事が判つたのである

×

蚊が之れに觸れると蚊の體内で病原體が增殖して、十數本の中、一本は今二十數個の蟲を結んで居ります、若し御承知なるがあれば、何時でも喜んで御覽へ入れます。

## 大風子が藥由園に結實

取りうみん」や「ろっぱかつら」に、甘い、苦い、しぶい、香ばしい色と香、風味などを兼ねそなえて、そのえた味にも通じて、それを調和させて丁寧

×

藥である自然の調和節——なる植物の現象に見た如き美感は、茶道の精神にも關らず、茶末といふ茶の粉末を用ひるに至つたといひ、又茶道の或る流派の如きは、茶末を見たといひ、又茶道の或る流派の如きは、茶末を見たといひ、又茶道の或る流派の如きは、茶末を見た

# 空に殘れる

（第十回懸賞當選）

尾崎士郎 作

高木清 畫

(40)

ネオンの影（八）

その聲がやつとおさまつて、テーブルはあちらもこちらもとあたらしい客によつて占められたが大抵の客が伊保子を知つてゐるらしく、「贅澤の出來さん」——と、壁下から呼びかけるボーイの聲が聞えることに、伊保子はハツとして顏をそむけたテーブルのあひだを縫ひながら、間斷たちの眼が絶えず輝くのを見ると、何んなに顏をそむけようとも、しかし感分感覺な氣がしないでもなかつた。

こんなときに相手の是非に特別の好意を示されてゐるといふことがわかつたなにに力づよく思はれるのである。

店は十二時になると表をさざし天井の電氣を消してしまふが、常連の客が殘つて踊りを續けてゐるのは大抵一時を過ぎる頃だつた。

伊保子がテーブルを立つて、客の控室へ歸つてくると、もう早じまひの女たちは着物を着換へ

防空演習の一角に明るくなる燈臺を繞つてその傍若無人な燈光は益々增長して來たが、一方、等のリーダーは新しい外蒙の文化工作とその經營をソ聯式に將大官僚してゐるが、その實體はどうか、しかし外蒙古官の外蒙古でなくなつたことは確實なのだ、以下も外蒙政府の發表した蒙古の奇蹟によるもので、それが「眞實の姿」でないまは誰もまでもない。

×

先づ外蒙のアウト・ラインをいふと東部國境の一部に明るくなる燈臺を繞つてその傍若無人な燈光は益々增長して來たが、一方、等のリーダーは新しい外蒙の文化工作とその經營をソ聯式に將大官僚してゐるが、その實體はどうか、しかし外蒙古官の外蒙古でなくなつたことは確實なのだ、以下も外蒙政府の發表した蒙古の奇蹟によるもので、それが「眞實の姿」でないまは誰もまでもない。

×

# 外蒙は發展したか

## 頻々と越境する外蒙兵

### 政治、産業、交通の現狀は

ふた昔前國の被生を勝たのは、九國民大會議の決議に基いた軟蒙の第一次五ヶ年計畫の成果だと傳へられる、外蒙古の地積三分の一は牧畜に適し家畜の飼料度の一番大きい處は二千万粁に四四・三頭だといはれてゐる、戰前蒙の文化的作も何も聞いてゐる、戰車は殆んど支那人、ロシア人、ブリヤード人だけがやつてゐる、一時國境線を合地に渡けて農業養達にスタートしたが一九三一年のグンドゥン首相の宣言で再び牧畜第一主義に轉換した。

×

農業方面では石炭が有望で既に一二四年七月六日で外蒙古の全主權は大ホラルダン（國會及びその選任する政府に屬する事となり同年十一月八日には第一回大ホラルダンが開かれ議長、國旗、國歌を定めコミンテルン代表ルイスクウロフの提議で首都であつた庫倫はウラン・バートル・ホタ（赤の英雄の都）と改稱された、面積は一五五万二千五〇〇平方粁でイラン（ペルシヤ）の面積より稍狹いが農地は新行政區劃から除外されて、砂と石の地面は一顆以上の土に化さうとしてゐる——とは外蒙人の聲を大きく叫んでゐる處だ、人口は一九三〇年頃は八十万以下であつたが最近は總人口百万内外だと報じられてゐる、外蒙人が主ソ聯人、支那人が各五万程度——そして外蒙人口は喇嘛僧、アラット（遊牧勤勞民）及び新興工業勞働者の三つの社會層に分れてゐる、政治は大ホラルダンで行政されるが、最高權力機關は大ホラルダンでアイマク（部）の住民代表、市代表、軍隊の代表がその議員で大體一〇〇名位であり小ホラルダンは大ホラルダン所管中の最高權力機關である。

×

外蒙古の產業を擧ると、先づ牧畜が外蒙古人の生活線にある一九三四年には總計五五七、三三〇頭、牛二、三五二、一二〇頭、羊一、九〇〇、一六〇頭、羊一七、九九三、六五〇頭、合計三、三七二、四〇〇頭で世界一位羊の一四五頭で世界第一とになつてゐる、これは一九三〇年の一二頭に比べて約二倍の增加である、この牧畜業の發展の第一次五ヶ年計畫の成果だと傳へられる、外蒙古の地積三分の一は牧畜に適し家畜の飼料度の一番大きい處は二千万粁に四四・三頭だといはれてゐる、戰前蒙の文化的作も何も聞いてゐる、戰車は殆んど支那人、ロシア人、ブリヤード人だけがやつてゐる、一時國境線を合地に渡けて農業養達にスタートしたが一九三一年のグンドゥン首相の宣言で再び牧畜第一主義に轉換した。

×

農業方面では石炭が有望で既に一二四年七月六日で外蒙古の全主權は大ホラルダン（國會及びその選任する政府に屬する事となり同年十一月八日には第一回大ホラルダンが開かれ議長、國旗、國歌を定めコミンテルン代表ルイスクウロフの提議で首都であつた庫倫はウラン・バートル・ホタ（赤の英雄の都）と改稱された、面積は一五五万二千五〇〇平方粁でイラン（ペルシヤ）の面積より稍狹いが農地は新行政區劃から除外されて、砂と石の地面は一顆以上の土に化さうとしてゐる——とは外蒙人の聲を大きく叫んでゐる處だ、人口は一九三〇年頃は八十万以下であつたが最近は總人口百万内外だと報じられてゐる、外蒙人が主ソ聯人、支那人が各五万程度——そして外蒙人口は喇嘛僧、アラット（遊牧勤勞民）及び新興工業勞働者の三つの社會層に分れてゐる、政治は大ホラルダンで行政されるが、最高權力機關は大ホラルダンでアイマク（部）の住民代表、市代表、軍隊の代表がその議員で大體一〇〇名位であり小ホラルダンは大ホラルダン所管中の最高權力機關である。

×

外蒙古の產業を擧ると、先づ牧畜が外蒙古人の生活線にある一九三四年には總計五五七、三三〇頭、牛二、三五二、一二〇頭、羊一、九〇〇、一六〇頭、羊一七、九九三、六五〇頭、合計三、三七二、四〇〇頭で世界一位羊の一四五頭で世界第一とになつてゐる、これは一九三〇年の一二頭に比べて約二倍の增加である、この牧畜業の發展の第一次五ヶ年計畫の成果だと傳へられる、外蒙古の地積三分の一は牧畜に適し家畜の飼料度の一番大きい處は二千万粁に四四・三頭だといはれてゐる、戰前蒙の文化的作も何も聞いてゐる、戰車は殆んど支那人、ロシア人、ブリヤード人だけがやつてゐる、一時國境線を合地に渡けて農業養達にスタートしたが一九三一年のグンドゥン首相の宣言で再び牧畜第一主義に轉換した。

×

# 上海租界の內幕

## 英人が喰ひ下るも道理

上海租界の今後の運命は他の租界同樣、土地賃貸の改訂期が刻々に迫つてゐるが、特別法院の設置であり特別法院の改組、或ひはアロリストの排日言論の嚴重取締、青天白日旗撤去問題等がありその他の懸案も解決されなければ、今日上海に在住し又は上海を根據とする歐米人にとつて上海租界の諸制度並びに組織が全く公正なものであるかの質問に對して答へる勇氣のある者はゐそらく一人もあるまい、と語つてゐる「極東地のルンペン」英人たちは今に至るまで、過去の優越的地位に執着しながら譯つた、態を通してゐるのである。

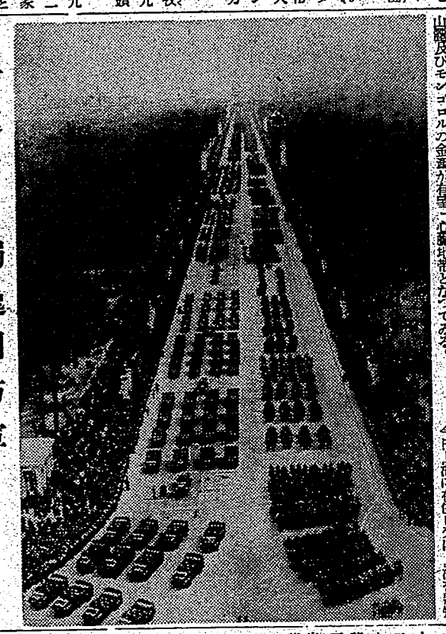
×

一九三五—三六年の共同租界の人件費は七百八万餘ドルで、年俸二万ドル級のものが三千四、五名あるが、この大半はその扇の赤い英國人のポケットに消えて行く、工部局に於て、日本人は比較的進出してゐる警務部をみても總監は英國人でこの部門二万八千六百ドル、副總監には日本人と英國人の二人が任じてゐる。

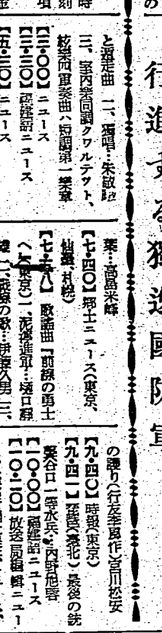
日本人の俸給二万五千ドル餘であるが英國人の方は三千ドルも高く二万八千ドル餘を貰つてゐる、その次に總領補といふのがあるがこれも日英二名でその俸給は英國人二万二千五百ドル餘、日本人二万ドル餘であり、ここにも差別待遇が設けられてゐる、この事實は工部局に流れる英國側の感謝料を轉嫁さんとする一つの現れとみてよい。

×

この工部局は共同租界を支配して統治してゐるが、その首腦機關は參事會である、參事會の割當では英國五名、日本、米國各二名それぞれ二名、支那五名計十四名となつてゐるが、しかも英國は常に米國や支那に差額的地位をめぐらして英國參與に出で、日本を孤立化せしめんとして來た、今日では英米協せて七名といふことになつたが、上海在留民を比較してみると總數は、日本人は五万人となつたに反して英人僅かに三千人だとなつてしまつた、日本の四万人を參事會で代表するのに二名、英國の三千人を參事會で代表するのが五名——ここにも大きな矛盾がなくなつたのである、若し上海に關する正當なリアルな調べが行はれる日も遠からず來るであらう。



# 行進する獨逸國防軍



# ラヂオ

【八・四〇】家庭料理（鈴木春北）【八・五〇】ニュース（東京）【九・〇】子供の時間（東京）【九・二五】尋常小學讀本（東京）【九・四〇】唱歌（東京）【九・五〇】ニュース（東京）【一〇・〇】ニュース（東京）【一〇・一〇】ピアノ獨奏（東京）【一〇・二〇】ニュース（東京）【一〇・三〇】ラヂオ體操（東京）【一〇・四〇】ニュース（東京）【一〇・五〇】ニュース（東京）【一一・〇】ニュース（東京）【一一・一〇】ニュース（東京）【一一・二〇】ニュース（東京）【一一・三〇】ニュース（東京）【一一・四〇】ニュース（東京）【一一・五〇】ニュース（東京）【一二・〇】ニュース（東京）【一二・一〇】ニュース（東京）【一二・二〇】ニュース（東京）【一二・三〇】ニュース（東京）【一二・四〇】ニュース（東京）【一二・五〇】ニュース（東京）【一三・〇】ニュース（東京）【一三・一〇】ニュース（東京）【一三・二〇】ニュース（東京）【一三・三〇】ニュース（東京）【一三・四〇】ニュース（東京）【一三・五〇】ニュース（東京）【一四・〇】ニュース（東京）【一四・一〇】ニュース（東京）【一四・二〇】ニュース（東京）【一四・三〇】ニュース（東京）【一四・四〇】ニュース（東京）【一四・五〇】ニュース（東京）【一五・〇】ニュース（東京）【一五・一〇】ニュース（東京）【一五・二〇】ニュース（東京）【一五・三〇】ニュース（東京）【一五・四〇】ニュース（東京）【一五・五〇】ニュース（東京）【一六・〇】ニュース（東京）【一六・一〇】ニュース（東京）【一六・二〇】ニュース（東京）【一六・三〇】ニュース（東京）【一六・四〇】ニュース（東京）【一六・五〇】ニュース（東京）【一七・〇】ニュース（東京）【一七・一〇】ニュース（東京）【一七・二〇】ニュース（東京）【一七・三〇】ニュース（東京）【一七・四〇】ニュース（東京）【一七・五〇】ニュース（東京）【一八・〇】ニュース（東京）【一八・一〇】ニュース（東京）【一八・二〇】ニュース（東京）【一八・三〇】ニュース（東京）【一八・四〇】ニュース（東京）【一八・五〇】ニュース（東京）【一九・〇】ニュース（東京）【一九・一〇】ニュース（東京）【一九・二〇】ニュース（東京）【一九・三〇】ニュース（東京）【一九・四〇】ニュース（東京）【一九・五〇】ニュース（東京）【二〇・〇】ニュース（東京）【二〇・一〇】ニュース（東京）【二〇・二〇】ニュース（東京）【二〇・三〇】ニュース（東京）【二〇・四〇】ニュース（東京）【二〇・五〇】ニュース（東京）【二一・〇】ニュース（東京）【二一・一〇】ニュース（東京）【二一・二〇】ニュース（東京）【二一・三〇】ニュース（東京）【二一・四〇】ニュース（東京）【二一・五〇】ニュース（東京）【二二・〇】ニュース（東京）【二二・一〇】ニュース（東京）【二二・二〇】ニュース（東京）【二二・三〇】ニュース（東京）【二二・四〇】ニュース（東京）【二二・五〇】ニュース（東京）【二三・〇】ニュース（東京）【二三・一〇】ニュース（東京）【二三・二〇】ニュース（東京）【二三・三〇】ニュース（東京）【二三・四〇】ニュース（東京）【二三・五〇】ニュース（東京）【二四・〇】ニュース（東京）【二四・一〇】ニュース（東京）【二四・二〇】ニュース（東京）【二四・三〇】ニュース（東京）【二四・四〇】ニュース（東京）【二四・五〇】ニュース（東京）【二五・〇】ニュース（東京）【二五・一〇】ニュース（東京）【二五・二〇】ニュース（東京）【二五・三〇】ニュース（東京）【二五・四〇】ニュース（東京）【二五・五〇】ニュース（東京）【二六・〇】ニュース（東京）【二六・一〇】ニュース（東京）【二六・二〇】ニュース（東京）【二六・三〇】ニュース（東京）【二六・四〇】ニュース（東京）【二六・五〇】ニュース（東京）【二七・〇】ニュース（東京）【二七・一〇】ニュース（東京）【二七・二〇】ニュース（東京）【二七・三〇】ニュース（東京）【二七・四〇】ニュース（東京）【二七・五〇】ニュース（東京）【二八・〇】ニュース（東京）【二八・一〇】ニュース（東京）【二八・二〇】ニュース（東京）【二八・三〇】ニュース（東京）【二八・四〇】ニュース（東京）【二八・五〇】ニュース（東京）【二九・〇】ニュース（東京）【二九・一〇】ニュース（東京）【二九・二〇】ニュース（東京）【二九・三〇】ニュース（東京）【二九・四〇】ニュース（東京）【二九・五〇】ニュース（東京）【三〇・〇】ニュース（東京）【三〇・一〇】ニュース（東京）【三〇・二〇】ニュース（東京）【三〇・三〇】ニュース（東京）【三〇・四〇】ニュース（東京）【三〇・五〇】ニュース（東京）【三一・〇】ニュース（東京）【三一・一〇】ニュース（東京）【三一・二〇】ニュース（東京）【三一・三〇】ニュース（東京）【三一・四〇】ニュース（東京）【三一・五〇】ニュース（東京）【三二・〇】ニュース（東京）【三二・一〇】ニュース（東京）【三二・二〇】ニュース（東京）【三二・三〇】ニュース（東京）【三二・四〇】ニュース（東京）【三二・五〇】ニュース（東京）【三三・〇】ニュース（東京）【三三・一〇】ニュース（東京）【三三・二〇】ニュース（東京）【三三・三〇】ニュース（東京）【三三・四〇】ニュース（東京）【三三・五〇】ニュース（東京）【三四・〇】ニュース（東京）【三四・一〇】ニュース（東京）【三四・二〇】ニュース（東京）【三四・三〇】ニュース（東京）【三四・四〇】ニュース（東京）【三四・五〇】ニュース（東京）【三五・〇】ニュース（東京）【三五・一〇】ニュース（東京）【三五・二〇】ニュース（東京）【三五・三〇】ニュース（東京）【三五・四〇】ニュース（東京）【三五・五〇】ニュース（東京）【三六・〇】ニュース（東京）【三六・一〇】ニュース（東京）【三六・二〇】ニュース（東京）【三六・三〇】ニュース（東京）【三六・四〇】ニュース（東京）【三六・五〇】ニュース（東京）【三七・〇】ニュース（東京）【三七・一〇】ニュース（東京）【三七・二〇】ニュース（東京）【三七・三〇】ニュース（東京）【三七・四〇】ニュース（東京）【三七・五〇】ニュース（東京）【三八・〇】ニュース（東京）【三八・一〇】ニュース（東京）【三八・二〇】ニュース（東京）【三八・三〇】ニュース（東京）【三八・四〇】ニュース（東京）【三八・五〇】ニュース（東京）【三九・〇】ニュース（東京）【三九・一〇】ニュース（東京）【三九・二〇】ニュース（東京）【三九・三〇】ニュース（東京）【三九・四〇】ニュース（東京）【三九・五〇】ニュース（東京）【四〇・〇】ニュース（東京）【四〇・一〇】ニュース（東京）【四〇・二〇】ニュース（東京）【四〇・三〇】ニュース（東京）【四〇・四〇】ニュース（東京）【四〇・五〇】ニュース（東京）【四一・〇】ニュース（東京）【四一・一〇】ニュース（東京）【四一・二〇】ニュース（東京）【四一・三〇】ニュース（東京）【四一・四〇】ニュース（東京）【四一・五〇】ニュース（東京）【四二・〇】ニュース（東京）【四二・一〇】ニュース（東京）【四二・二〇】ニュース（東京）【四二・三〇】ニュース（東京）【四二・四〇】ニュース（東京）【四二・五〇】ニュース（東京）【四三・〇】ニュース（東京）【四三・一〇】ニュース（東京）【四三・二〇】ニュース（東京）【四三・三〇】ニュース（東京）【四三・四〇】ニュース（東京）【四三・五〇】ニュース（東京）【四四・〇】ニュース（東京）【四四・一〇】ニュース（東京）【四四・二〇】ニュース（東京）【四四・三〇】ニュース（東京）【四四・四〇】ニュース（東京）【四四・五〇】ニュース（東京）【四五・〇】ニュース（東京）【四五・一〇】ニュース（東京）【四五・二〇】ニュース（東京）【四五・三〇】ニュース（東京）【四五・四〇】ニュース（東京）【四五・五〇】ニュース（東京）【四六・〇】ニュース（東京）【四六・一〇】ニュース（東京）【四六・二〇】ニュース（東京）【四六・三〇】ニュース（東京）【四六・四〇】ニュース（東京）【四六・五〇】ニュース（東京）【四七・〇】ニュース（東京）【四七・一〇】ニュース（東京）【四七・二〇】ニュース（東京）【四七・三〇】ニュース（東京）【四七・四〇】ニュース（東京）【四七・五〇】ニュース（東京）【四八・〇】ニュース（東京）【四八・一〇】ニュース（東京）【四八・二〇】ニュース（東京）【四八・三〇】ニュース（東京）【四八・四〇】ニュース（東京）【四八・五〇】ニュース（東京）【四九・〇】ニュース（東京）【四九・一〇】ニュース（東京）【四九・二〇】ニュース（東京）【四九・三〇】ニュース（東京）【四九・四〇】ニュース（東京）【四九・五〇】ニュース（東京）【五〇・〇】ニュース（東京）【五〇・一〇】ニュース（東京）【五〇・二〇】ニュース（東京）【五〇・三〇】ニュース（東京）【五〇・四〇】ニュース（東京）【五〇・五〇】ニュース（東京）【五一・〇】ニュース（東京）【五一・一〇】ニュース（東京）【五一・二〇】ニュース（東京）【五一・三〇】ニュース（東京）【五一・四〇】ニュース（東京）【五一・五〇】ニュース（東京）【五二・〇】ニュース（東京）【五二・一〇】ニュース（東京）【五二・二〇】ニュース（東京）【五二・三〇】ニュース（東京）【五二・四〇】ニュース（東京）【五二・五〇】ニュース（東京）【五三・〇】ニュース（東京）【五三・一〇】ニュース（東京）【五三・二〇】ニュース（東京）【五三・三〇】ニュース（東京）【五三・四〇】ニュース（東京）【五三・五〇】ニュース（東京）【五四・〇】ニュース（東京）【五四・一〇】ニュース（東京）【五四・二〇】ニュース（東京）【五四・三〇】ニュース（東京）【五四・四〇】ニュース（東京）【五四・五〇】ニュース（東京）【五五・〇】ニュース（東京）【五五・一〇】ニュース（東京）【五五・二〇】ニュース（東京）【五五・三〇】ニュース（東京）【五五・四〇】ニュース（東京）【五五・五〇】ニュース（東京）【五六・〇】ニュース（東京）【五六・一〇】ニュース（東京）【五六・二〇】ニュース（東京）【五六・三〇】ニュース（東京）【五六・四〇】ニュース（東京）【五六・五〇】ニュース（東京）【五七・〇】ニュース（東京）【五七・一〇】ニュース（東京）【五七・二〇】ニュース（東京）【五七・三〇】ニュース（東京）【五七・四〇】ニュース（東京）【五七・五〇】ニュース（東京）【五八・〇】ニュース（東京）【五八・一〇】ニュース（東京）【五八・二〇】ニュース（東京）【五八・三〇】ニュース（東京）【五八・四〇】ニュース（東京）【五八・五〇】ニュース（東京）【五九・〇】ニュース（東京）【五九・一〇】ニュース（東京）【五九・二〇】ニュース（東京）【五九・三〇】ニュース（東京）【五九・四〇】ニュース（東京）【五九・五〇】ニュース（東京）【六〇・〇】ニュース（東京）【六〇・一〇】ニュース（東京）【六〇・二〇】ニュース（東京）【六〇・三〇】ニュース（東京）【六〇・四〇】ニュース（東京）【六〇・五〇】ニュース（東京）【六一・〇】ニュース（東京）【六一・一〇】ニュース（東京）【六一・二〇】ニュース（東京）【六一・三〇】ニュース（東京）【六一・四〇】ニュース（東京）【六一・五〇】ニュース（東京）【六二・〇】ニュース（東京）【六二・一〇】ニュース（東京）【六二・二〇】ニュース（東京）【六二・三〇】ニュース（東京）【六二・四〇】ニュース（東京）【六二・五〇】ニュース（東京）【六三・〇】ニュース（東京）【六三・一〇】ニュース（東京）【六三・二〇】ニュース（東京）【六三・三〇】ニュース（東京）【六三・四〇】ニュース（東京）【六三・五〇】ニュース（東京）【六四・〇】ニュース（東京）【六四・一〇】ニュース（東京）【六四・二〇】ニュース（東京）【六四・三〇】ニュース（東京）【六四・四〇】ニュース（東京）【六四・五〇】ニュース（東京）【六五・〇】ニュース（東京）【六五・一〇】ニュース（東京）【六五・二〇】ニュース（東京）【六五・三〇】ニュース（東京）【六五・四〇】ニュース（東京）【六五・五〇】ニュース（東京）【六六・〇】ニュース（東京）【六六・一〇】ニュース（東京）【六六・二〇】ニュース（東京）【六六・三〇】ニュース（東京）【六六・四〇】ニュース（東京）【六六・五〇】ニュース（東京）【六七・〇】ニュース（東京）【六七・一〇】ニュース（東京）【六七・二〇】ニュース（東京）【六七・三〇】ニュース（東京）【六七・四〇】ニュース（東京）【六七・五〇】ニュース（東京）【六八・〇】ニュース（東京）【六八・一〇】ニュース（東京）【六八・二〇】ニュース（東京）【六八・三〇】ニュース（東京）【六八・四〇】ニュース（東京）【六八・五〇】ニュース（東京）【六九・〇】ニュース（東京）【六九・一〇】ニュース（東京）【六九・二〇】ニュース（東京）【六九・三〇】ニュース（東京）【六九・四〇】ニュース（東京）【六九・五〇】ニュース（東京）【七〇・〇】ニュース（東京）【七〇・一〇】ニュース（東京）【七〇・二〇】ニュース（東京）【七〇・三〇】ニュース（東京）【七〇・四〇】ニュース（東京）【七〇・五〇】ニュース（東京）【七一・〇】ニュース（東京）【七一・一〇】ニュース（東京）【七一・二〇】ニュース（東京）【七一・三〇】ニュース（東京）【七一・四〇】ニュース（東京）【七一・五〇】ニュース（東京）【七二・〇】ニュース（東京）【七二・一〇】ニュース（東京）【七二・二〇】ニュース（東京）【七二・三〇】ニュース（東京）【七二・四〇】ニュース（東京）【七二・五〇】ニュース（東京）【七三・〇】ニュース（東京）【七三・一〇】ニュース（東京）【七三・二〇】ニュース（東京）【七三・三〇】ニュース（東京）【七三・四〇】ニュース（東京）【七三・五〇】ニュース（東京）【七四・〇】ニュース（東京）【七四・一〇】ニュース（東京）【七四・二〇】ニュース（東京）【七四・三〇】ニュース（東京）【七四・四〇】ニュース（東京）【七四・五〇】ニュース（東京）【七五・〇】ニュース（東京）【七五・一〇】ニュース（東京）【七五・二〇】ニュース（東京）【七五・三〇】ニュース（東京）【七五・四〇】ニュース（東京）【七五・五〇】ニュース（東京）【七六・〇】ニュース（東京）【七六・一〇】ニュース（東京）【七六・二〇】ニュース（東京）【七六・三〇】ニュース（東京）【七六・四〇】ニュース（東京）【七六・五〇】ニュース（東京）【七七・〇】ニュース（東京）【七七・一〇】ニュース（東京）【七七・二〇】ニュース（東京）【七七・三〇】ニュース（東京）【七七・四〇】ニュース（東京）【七七・五〇】ニュース（東京）【七八・〇】ニュース（東京）【七八・一〇】ニュース（東京）【七八・二〇】ニュース（東京）【七八・三〇】ニュース（東京）【七八・四〇】ニュース（東京）【七八・五〇】ニュース（東京）【七九・〇】ニュース（東京）【七九・一〇】ニュース（東京）【七九・二〇】ニュース（東京）【七九・三〇】ニュース（東京）【七九・四〇】ニュース（東京）【七九・五〇】ニュース（東京）【八〇・〇】ニュース（東京）【八〇・一〇】ニュース（東京）【八〇・二〇】ニュース（東京）【八〇・三〇】ニュース（東京）【八〇・四〇】ニュース（東京）【八〇・五〇】ニュース（東京）【八一・〇】ニュース（東京）【八一・一〇】ニュース（東京）【八一・二〇】ニュース（東京）【八一・三〇】ニュース（東京）【八一・四〇】ニュース（東京）【八一・五〇】ニュース（東京）【八二・〇】ニュース（東京）【八二・一〇】ニュース（東京）【八二・二〇】ニュース（東京）【八二・三〇】ニュース（東京）【八二・四〇】ニュース（東京）【八二・五〇】ニュース（東京）【八三・〇】ニュース（東京）【八三・一〇】ニュース（東京）【八三・二〇】ニュース（東京）【八三・三〇】ニュース（東京）【八三・四〇】ニュース（東京）【八三・五〇】ニュース（東京）【八四・〇】ニュース（東京）【八四・一〇】ニュース（東京）【八四・二〇】ニュース（東京）【八四・三〇】ニュース（東京）【八四・四〇】ニュース（東京）【八四・五〇】ニュース（東京）【八五・〇】ニュース（東京）【八五・一〇】ニュース（東京）【八五・二〇】ニュース（東京）【八五・三〇】ニュース（東京）【八五・四〇】ニュース（東京）【八五・五〇】ニュース（東京）【八六・〇】ニュース（東京）【八六・一〇】ニュース（東京）【八六・二〇】ニュース（東京）【八六・三〇】ニュース（東京）【八六・四〇】ニュース（東京）【八六・五〇】ニュース（東京）【八七・〇】ニュース（東京）【八七・一〇】ニュース（東京）【八七・二〇】ニュース（東京）【八七・三〇】ニュース（東京）【八七・四〇】ニュース（東京）【八七・五〇】ニュース（東京）【八八・〇】ニュース（東京）【八八・一〇】ニュース（東京）【八八・二〇】ニュース（東京）【八八・三〇】ニュース（東京）【八八・四〇】ニュース（東京）【八八・五〇】ニュース（東京）【八九・〇】ニュース（東京）【八九・一〇】ニュース（東京）【八九・二〇】ニュース（東京）【八九・三〇】ニュース（東京）【八九・四〇】ニュース（東京）【八九・五〇】ニュース（東京）【九〇・〇】ニュース（東京）【九〇・一〇】ニュース（東京）【九〇・二〇】ニュース（東京）【九〇・三〇】ニュース（東京）【九〇・四〇】ニュース（東京）【九〇・五〇】ニュース（東京）【九一・〇】ニュース（東京）【九一・一〇】ニュース（東京）【九一・二〇】ニュース（東京）【九一・三〇】ニュース（東京）【九一・四〇】ニュース（東京）【九一・五〇】ニュース（東京）【九二・〇】ニュース（東京）【九二・一〇】ニュース（東京）【九二・二〇】ニュース（東京）【九二・三〇】ニュース（東京）【九二・四〇】ニュース（東京）【九二・五〇】ニュース（東京）【九三・〇】ニュース（東京）【九三・一〇】ニュース（東京）【九三・二〇】ニュース（東京）【九三・三〇】ニュース（東京）【九三・四〇】ニュース（東京）【九三・五〇】ニュース（東京）【九四・〇】ニュース（東京）【九四・一〇】ニュース（東京）【九四・二〇】ニュース（東京）【九四・三〇】ニュース（東京）【九四・四〇】ニュース（東京）【九四・五〇】ニュース（東京）【九五・〇】ニュース（東京）【九五・一〇】ニュース（東京）【九五・二〇】ニュース（東京）【九五・三〇】ニュース（東京）【九五・四〇】ニュース（東京）【九五・五〇】ニュース（東京）【九六・〇】ニュース（東京）【九六・一〇】ニュース（東京）【九六・二〇】ニュース（東京）【九六・三〇】ニュース（東京）【九六・四〇】ニュース（東京）【九六・五〇】ニュース（東京）【九七・〇】ニュース（東京）【九七・一〇】ニュース（東京）【九七・二〇】ニュース（東京）【九七・三〇】ニュース（東京）【九七・四〇】ニュース（東京）【九七・五〇】ニュース（東京）【九八・〇】ニュース（東京）【九八・一〇】ニュース（東京）【九八・二〇】ニュース（東京）【九八・三〇】ニュース（東京）【九八・四〇】ニュース（東京）【九八・五〇】ニュース（東京）【九九・〇】ニュース（東京）【九九・一〇】ニュース（東京）【九九・二〇】ニュース（東京）【九九・三〇】ニュース（東京）【九九・四〇】ニュース（東京）【九九・五〇】ニュース（東京）【一〇〇・〇】ニュース（東京）【一〇〇・一〇】ニュース（東京）【一〇〇・二〇】ニュース（東京）【一〇〇・三〇】ニュース（東京）【一〇〇・四〇】ニュース（東京）【一〇〇・五〇】ニュース（東京）【一〇一・〇】ニュース（東京）【一〇一・一〇】ニュース（東京）【一〇一・二〇】ニュース（東京）【一〇一・三〇】ニュース（東京）【一〇一・四〇】ニュース（東京）【一〇一・五〇】ニュース（東京）【一〇二・〇】ニュース（東京）【一〇二・一〇】ニュース（東京）【一〇二・二〇】ニュース（東京）【一〇二・三〇】ニュース（東京）【一〇二・四〇】ニュース（東京）【一〇二・五〇】ニュース（東京）【一〇三・〇】ニュース（東京）【一〇三・一〇】ニュース（東京）【一〇三・二〇】ニュース（東京）【一〇三・三〇】ニュース（東京）【一〇三・四〇】ニュース（東京）【一〇三・五〇】ニュース（東京）【一〇四・〇】ニュース（東京）【一〇四・一〇】ニュース（東京）【一〇四・二〇】ニュース（東京）【一〇四・三〇】ニュース（東京）【一〇四・四〇】ニュース（東京）【一〇四・五〇】ニュース（東京）【一〇五・〇】ニュース（東京）【一〇五・一〇】ニュース（東京）【一〇五・二〇】ニュース（東京）【一〇五・三〇】ニュース（東京）【一〇五・四〇】ニュース（東京）【一〇五・五〇】ニュース（東京）【一〇六・〇】ニュース（東京）【一〇六・一〇】ニュース（東京）【一〇六・二〇】ニュース（東京）【一〇六・三〇】ニュース（東京）【一〇六・四〇】ニュース（東京）【一〇六・五〇】ニュース（東京）【一〇七・〇】ニュース（東京）【一〇七・一〇】ニュース（東京）【一〇七・二〇】ニュース（東京）【一〇七・三〇】ニュース（東京）【一〇七・四〇】ニュース（東京）【一〇七・五〇】ニュース（東京）【一〇八・〇】ニュース（東京）【一〇八・一〇】ニュース（東京）【一〇八・二〇】ニュース（東京）【一〇八・三〇】ニュース（東京）【一〇八・四〇】ニュース（東京）【一〇八・五〇】ニュース（東京）【一〇九・〇】ニュース（東京）【一〇九・一〇】ニュース（東京）【一〇九・二〇】ニュース（東京）【一〇九・三〇】ニュース（東京）【一〇九・四〇】ニュース（東京）【一〇九・五〇】ニュース（東京）【一一〇・〇】ニュース（東京）【一一〇・一〇】ニュース（東京）【一一〇・二〇】ニュース（東京）【一一〇・三〇】ニュース（東京）【一一〇・四〇】ニュース（東京）【一一〇・五〇】ニュース（東京）【一一一・〇】ニュース（東京）【一一一・一〇】ニュース（東京）【一一一・二〇】ニュース（東京）【一一一・三〇】ニュース（東京）【一一一・四〇】ニュース（東京）【一一一・五〇】ニュース（東京）【一一二・〇】ニュース（東京）【一一二・一〇】ニュース（東京）【一一二・二〇】ニュース（東京）【一一二・三〇】ニュース（東京）【一一二・四〇】ニュース（東京）【一一二・五〇】ニュース（東京）【一一三・〇】ニュース（東京）【一一三・一〇】ニュース（東京）【一一三・二〇】ニュース（東京）【一一三・三〇】ニュース（東京）【一一三・四〇】ニュース（東京）【一一三・五〇】ニュース（東京）【一一四・〇】ニュース（東京）【一一四・一〇】ニュース（東京）【一一四・二〇】ニュース（東京）【一一四・三〇】ニュース（東京）【一一四・四〇】ニュース（東京）【一一四・五〇】ニュース（東京）【一一五・〇】ニュース（東京）【一一五・一〇】ニュース（東京）【一一五・二〇】ニュース（東京）【一一五・三〇】ニュース（東京）【一一五・四〇】ニュース（東京）【一一五・五〇】ニュース（東京）【一一六・〇】ニュース（東京）【一一六・一〇】ニュース（東京）【一一六・二〇】ニュース（東京）【一一六・三〇】ニュース（東京）【一一六・四〇】ニュース（東京）【一一六・五〇】ニュース（東京）【一一七・〇】ニュース（東京）【一一七・一〇】ニュース（東京）【一一七・二〇】ニュース（東京）【一一七・三〇】ニュース（東京）【一一七・四〇】ニュース（東京）【一一七・五〇】ニュース（東京）【一一八・〇】ニュース（東京）【一一八・一〇】ニュース（東京）【一一八・二〇】ニュース（東京）【一一八・三〇】ニュース（東京）【一一八・四〇】ニュース（東京）【一一八・五〇】ニュース（東京）【一一九・〇】ニュース（東京）【一一九・一〇】ニュース（東京）【一一九・二〇】ニュース（東京）【一一九・三〇】ニュース（東京）【一一九・四〇】ニュース（東京）【一一九・五〇】ニュース（東京）【一二〇・〇】ニュース（東京）【一二〇・一〇】ニュース（東京）【一二〇・二〇】ニュース（東京）【一二〇・三〇】ニュース（東京）【一二〇・四〇】ニュース（東京）【一二〇・五〇】ニュース（東京）【一二一・〇】ニュース（東京）【一二一・一〇】ニュース（東京）【一二一・二〇】ニュース（東京）【一二一・三〇】ニュース（東京）【一二一・四〇】ニュース（東京）【一二一・五〇】ニュース（東京）【一二二・〇】ニュース（東京）【一二二・一〇】ニュース（東京）【一二二・二〇】ニュース（東京）【一二二・三〇】ニュース（東京）【一二二・四〇】ニュース（東京）【一二二・五〇】ニュース（東京）【一二三・〇】ニュース（東京）【一二三・一〇】ニュース（東京）【一二三・二〇】ニュース（東京）【一二三・三〇】ニュース（東京）【一二三・四〇】ニュース（東京）【一二三・五〇】ニュース（東京）【一二四・〇】ニュース（東京）【一二四・一〇】ニュース（東京）【一二四・二〇】ニュース（東京）【一二四・三〇】ニュース（東京）【一二四・四〇】ニュース（東京）【一二四・五〇】ニュース（東京）【一二五・〇】ニュース（東京）【一二五・一〇】ニュース（東京）【一二五・二〇】ニュース（東京）【一二五・三〇】ニュース（東京）【一二五・四〇】ニュース（東京）【一二五・五〇】ニュース（東京）【一二六・〇】ニュース（東京）【一二六・一〇】ニュース（東京）【一二六・二〇】ニュース（東京）【一二六・三〇】ニュース（東京）【一二六・四〇】ニュース（東京）【一二六・五〇】ニュース（東京）【一二七・〇】ニュース（東京）【一二七・一〇】ニュース（東京）【一二七・二〇】ニュース（東京）【一二七・三〇】ニュース（東京）【一二七・四〇】ニュース（東京）【一二七・五〇】ニュース（東京）【一二八・〇】ニュース（東京）【一二八・一〇】ニュース（東京）【一二八・二〇】ニュース（東京）【一二八・三〇】ニュース（東京）【一二八・四〇】ニュース（東京）【一二八・五〇】ニュース（東京）【一二九・〇】ニュース（東京）【一二九・一〇】ニュース（東京）【一二九・二〇】ニュース（東京）【一二九・三〇】ニュース（東京）【一二九・四〇】ニュース（東京）【一二九・五〇】ニュース（東京）【一三〇・〇】ニュース（東京）【一三〇・一〇】ニュース（東京）【一三〇・二〇】ニュース（東京）【一三〇・三〇】ニュース（東京）【一三〇・四〇】ニュース（東京）【一三〇・五〇】ニュース（東京）【一三一・〇】ニュース（東京）【一三一・一〇】ニュース（東京）【一三一・二〇】ニュース（東京）【一三一・三〇】ニュース（東京）【一三一・四〇】ニュース（東京）【一三一・五〇】ニュース（東京）【一三二・〇】ニュース（東京）【一三二・一〇】ニュース（東京）【一三二・二〇】ニュース（東京）【一三二・三〇】ニュース（東京）【一三二・四〇】ニュース（東京）【一三二・五〇】ニュース（東京）【一三三・〇】ニュース（

（第三種郵便物認可）　昭和十四年七月二日（日曜日）　臺灣日日新報　第一万四千一百十四號　A　（五）

# 自動車で八通關越ゑ

## 臺灣勤勞報國青年隊を新編成し
## 八日から開鑿に着工

自昭和十四年度臺灣勤勞報國青年隊を新編成し台灣中央部を貫通する中央山脈に於て實施する國道開鑿の開發を敢みる爲となり此結果路の開發を敢みる爲となり此結果として台中州水里庄より新高山國立公園地帶を經つて花蓮港廳下玉里郡玉里附に通ずる八通關越自動車路を通足八月上旬これが着工を見ることとなつたので玉里地方民は多大の期待をもつて居るが現在の八通關越道路は大正八年五月總督府警務局長兼警察本署長兼務當時の兒玉總督が蕃地開發の爲め蕃地を經て中央山脈を横斷し能高越より花蓮港に至る道路として開鑿されたものであり、台灣中央部を貫通し國防上重要な價値を有する此道路は大正八、九二年總督府の手により開鑿され其後も數次に亘つて改修工事が施されたが、其の大部分は山地蕃人の爲めに開かれた道路であるので、其の構造は極めて簡易なもので、現在では殆んど通行不能の狀態にあるので、今回之が改修工事を實施することとなつたもので、其の改修工事は總督府の直營工事として實施し、其の工事費は約二十萬圓を豫定されてゐるが、其の工事は來る十月中旬より着手し來る二十年度末迄に完成する豫定で、其の

# 日本のもの

（下）

兼常清佐

いのやうなことをいへば敵かも知りたい。今の私共の受けた教育といふものは、すべて西洋の学問であり、我々の考へるものは、大部分は西洋風になつた。ただ女のきもだけはニッポンの美しい色と形とを止めてゐるらしいものである。衣服、家屋と建築物は大抵西洋の模倣になつた。今朝起にニッポンのものは何であるかといへば、それは殆んどさがさなくてはならぬくらゐなものである。これはみな仕方のないものの中に数へられるだらうなどの場合に学者はいふことが二つある。それは、このやうな事はみなが形的なものであつて我して問題ではないといふ事である。然し形的なものは何をどの外国から借りてきたかといふ事ではなく、ただニッポンの精神で決ひこなすといふ事である。しかしそれは全く抽象的なひ分である。形を離れて精神といふものが二つ揃して考へられるかどうかは実際の問題としては多くの疑問がある。あらゆる一般の問題からいへば、ばらばらの精神的生活は、その受けた教育と生活の様式によつて、ほぼ自づけられる。それが教育と日常生活の特色である。教育といふものは生活上にさうなくてはならない、都合のいい時は教育の価値もそのやうに働くおき、都合の悪い時はただ抽象的なものだといつてしまふことは、多少得手勝手である。西洋人と同じ教育をうけ、同じ様式の生活をする人はそれの考へ方も西洋人に似て来るのはあたり前である。風俗の変遷がほとんどないといふものも、おそらくこのやうな西洋の教育の影化であらう。そしてこのやうな事も何とも仕方のない事といふより外に道はない

このやうな現はほとんど根本的な問題になる。ただ小さな例をとつてニッポンの国総々を口でいつてゐることはやさしい。しかしそれを国民全般の例で説じる事は決して容易な事でない。これが今のニッポンの状態である

×　×

これは悪事を過去のものにおくといふ点から起る例である。過去のニッポンがニッポンでないと考へからこのやうな例が起つて来る。過去のニッポンより大切な点は将来のニッポンである。過去のニッポンは将来のニッポンに於いて生かすべきである。過去は過去に生きてゐるのでない。将来の為に過去を利用するのである。

男に利用せられるやうな点がなかつたら、女の男務員や女工や女中に手を付ける事は絶対にない。これはまことに結構なことである。なかく手が届かぬものだ、それよりも自分が十二分に注意と警戒をしてゐるものである。男に利用されてゐるといふものであり、真に現ひられてゐる例はおそきものである。「男の為の国家に女あり」といふことも注意に値する。

婦人参政権の投入が、十年間に百万円の公金を費ひ込んだ上役は少しも知らなかつた。かりそめにも百万円といふ公金を金庫から出したとすれば、それが如何に早く帳尻を合せ、如き数字のであるから、二年の中に早く帳尻を合せるものであるが、それが如何に巧妙な方法をもつて実出したものだから誰も知らなかつた。それなどは「女性のために」女に関係されたものでなく、女にあやつられたものでもあるまいその証跡には、遊んだ女には藝妓その為めに差し控つて必要なことは、女の文化知識を向上せしめなければならぬといふことである。

男に利用せられたり、飛んだ巻き目を見て身の破滅に立ちやうなことのない

琉球風景

糸崎町通り

木版・川平　朝甲

ある

ただ私共は全く過去を忘れてはならない、過去の状態は将来を判断する有力な基礎になる、過去を研究してみると、ニッポンはニッポン間を外国間の眼の形に直して六十年間小学生徒に眼はせた。それが何のためにどのくらゐ効力があるか、今一度調べてみる事が必要である。そしてあまりその結果がかんばしくないものならば、また他の方法を考へてみなくてはならない、何を標準にしてそれを判断するかといふ事は、それは決して容易な問題ではない。それは一つは藝妓それ自身の性質から考へてみなくてはならない。一般藝妓としてはそれはどのくらゐの成功したものか、それは世界一般の音楽的標準から考へてみることである。他の一つはニッポンのものとして考へることである。ニッポン人としてのわれわれの立場を異へたかといふことである。これがすべての人の判断が一致するものではない、いろいろの人のいろの意見が出るであらう、しかし結局はニッポンはその事について何かの結論に到着するであらう、これが将来のニッポンの音楽の基礎になる方針を定めるものである。それを実行すればよろしい、ただそれまで根気よく熱心にこの事を研究してみる、努力が必要である、その努力が将来のニッポン人としてのやうな研究は、口でいふやうに容易な事ではない。

# 犯罪と女性

果して女は悪か？

（下）

片山　哲

「悪の源の悪に女あり」といふも如何にも女が悪いものに聞える。主人の金を奪き出し、横領する位の大胆さがなくては、男の意気地がないではないかなどと女に煽り立てられると、某の小さい番頭さんが、急に番頭気質で配慮、横領何んでもこいと云ふ様に変造し出したが、しかし、その番頭、根が小心翼々ものです、悪事露顕が遅くより早く、発覚するのが多いのである。

ニッポンの文化を作る、今ニッポンはニッポンの非常時に直面してゐる、いろいろの問題が現はれるその中で一番問題を解決するのはニッポン的といふ事である、しかし何がニッポン的であるかといふ事を考へるのが一番の歴史的事である、しかし私共はあまり歴史的に考へてはならない、ニッポン的な所在を見出つてはならない、ここは本当にニッポンのものをあるが本当にニッポン的なものを見つけるべきである、私共は将来の問題を決めても一般民衆はなくてはならない

# 志誠

# 筆はさがき

## 野菜・果物

台湾では野菜も果物も甚だお粗末であつて必ず細論生産する側にも責任がある。需用家の我慢も度がすぎる。依る。どんな産業でも需よつて進歩改善されるこらである。かで、お口が進在の台湾の青ら ぬ思ひをな危厨園藝をお趣味と保健の

# 内服新発売

# 世界的大発見——革命的化学療法

# 淋病

# 三〇〇ウロギン

淋病内服六〇六號

治療根治薬として一〇〇%の全治率！

發賣早々全治礼状山を為す！

同種類の出の際特に効果ある品の選定肝要

最近流行の多数化學薬は果して効力同一なりや！

急性も慢性も特効薬も差別に容れない製品が如何にあるかや、三〇〇人の實験例を經て發賣す一〇〇%の全治率を有する事は何を物語る？

# 淋病ノ特効薬

# 一日ニ三〇〇ウロギンを服用

何故三〇〇ウロギンを推奨するか

感染直後の急性症に

再發性慢性症に

何を飲んでも效果なき特異質症に

遅くも二日で全く症状なし——全世界斯くの如き速效薬なし——同型

化學品中效力一頭地を抜く製品は是れ！

## 特徴

一、内服三日にして目的貫徹

一般病や藥品より飲めば直ちに到る點より服藥

二、迷はず直ちに服用せられよ！最も效果ある速效藥無效返金差支へなし

三、斯く迄自信ある藥品の販賣を知らず！果して實質的藥品

四、原料皆ドイツ所産ー保存期間ー此れ三〇〇ウロギンにより實現す

五、實驗者の百發百中ー此れ本品の注射の必要なく然來の治療藥を根底より覆す次の如し

一、内服副作用なく短時日を以て目的貫徹す服用後一日及三日にて排泄停止

二、體力强大なるが故に驚くべき速效あり

三、本品を服用する時は直ちに尿の濁點去り尿の赤變なし

四、本劑は從來最良治藥として從來の一時的劇藥にあらず故に全然後效無し

五、臨床實驗により再發の憂いなし

六、尿中に排出し殺菌消毒を爲す

## 適應症

急性淋疾・慢性淋疾・塞丸炎・攝護腺炎・膀胱炎・ラツペ管炎・子宮內膜炎

## ウロギン定價

70錠 2,00
110錠 3,00
200錠 5,00
450錠 10,00

# 化學藥療法劑にも效くのと效かぬのとあり！

同型の化學藥で形や原料が似て居ても其の效力は種々であつてスルファニールアミド、ズルフオチアゾールアミード、でも同じ藥劑だから效力は同一と言ふわけには行きません同じ表に黒豆でもドス黒の場合と色に强い次第で時とは味も固さも違います

三〇〇ウロギンは（急も效く緩和）によつて結晶した製品のみを選び發賣したのであります

全島有名藥店有品切ノ時ハ販賣元ヘ注文ヲ乞フ

東京市芝區琴平町二九
虎ノ門ビル
電話芝一二五番
東亞藥化學研究所
電話芝一二五番
電報京一二五番
基隆市義重町一ノ四
電話二七番
電報一七番
基　隆　藥　局
電話二七番
電報一七番

一、〇北市〇〇町〇田〇子
五月二十二日付第五〇〇〇號郵便貯金證書二九八號により金參拾圓全部紛失せるを以て此の證書は無效に付届出でます
一、佐世保局氣付〇〇〇〇
五月二十二日付第五〇〇〇號郵便貯金證書二九八號により金參拾圓全部紛失せるを以て此の證書は無效に付届出でます
一、門司市本村町〇丁目〇谷〇一
過日貴店にて購入致し候ウロギンの效力に感激に堪へず依て此の藥品の用心の爲め再び此の藥品を注文致し度候に付御調の上御送附致し度候料共金參圓也同封仕り候
卓上候

# 泉温庭家

【許特實專】

春風寒し！身体の芯から温まるこの一浴！

どのお家庭にも重宝と大好評の

# 入浴剤

# ユポップ

各りあん店薬舗

白壽元販宅商會

皮膚病・婦人病・肺結核・リウマチ・高血壓・ザラアレ肌病

# いづれ

菖蒲と迷はすノルモ

胃痛・胸やけ・キ・ツミに

# 錠ンザモルノ

# 毛根の劇毒をドンミタビ科賽藥化强

# カデメ

# ドーマポ

き基に理學は品本のつ二に法製るたす有を稲針特實專性物植純用藥

# 花王シャンプー

# ●頭痛にノーシン

薬価 二十錠 三〇銭 五十錠 一四〇銭

●頭痛・神経痛・リウマチ・生理痛・感冒の際の解熱鎮痛に

お髪が臭ひませんか

梅雨時こそ髪洗ひはぜひ一週に一度！花王シャンプーで地肌までさつぱりと洗つて下さい汗・あぶらにまみれた地肌に美しい黒髪は育ちません

# カルピス

子供ヲ強ク育テル　滋強飲料

ボクガ
カルピス坊やデ
自慢ヂャナイガ
丈夫デス

カルピスは子供の食慾を増します。榮養を一層にします。疲病を防ぎます。

カルピス坊や・その一

# 廈門特別市政府成立の歴史的式典を擧ぐ

## 日、華要人多數が參列

【廈門一日發本社支局特電】事在中沼の發表に一般より強い衝撃を加へた事變發生以來、廈門特別市政府樹立の歴史的式典は七月一日午前十時より市役所の大講堂に於いて擧行された。この日朝よりうんざりした雨模様ではあつたが、式典は嚴肅裡に行はれ、午前十時

塵一つ

ない程に美しく飾り立てられた廈門の街頭には、正面の壁上に白幕がかゝり白服と日の丸の旗がこの日の祝ひを盡んで交叉せられ、開會には日支兩國代表、數十名列席ならびに廈門特別市長、臨時維新政府代表、陳中支那派遣軍參謀長、佐藤海軍特務部長、日本側從軍記者團、臺灣日日新報社支局長、同盟通信社支局長、朝日新聞社支局長、每日新聞社支局長、東京日日新聞社支局長、讀賣新聞社支局長、福岡日日新聞社支局長、日本側各團體代表、廈門在留邦人代表、臺灣出身者代表、鼓浪嶼工部局代表、鼓浪嶼警察署長、鼓浪嶼各團體代表、鼓浪嶼在留邦人代表、鼓浪嶼各學校代表、鼓浪嶼各新聞社代表、鼓浪嶼各通信社代表、鼓浪嶼各銀行代表、數十名の臨時招待客、鼓浪嶼警察署より派遣の警官隊、廈門警察署より派遣の警官隊、廈門警備隊より派遣の警備隊等、數百名の參列者を以て嚴肅裡に開會された。

正面壇上には中國人小學生、總理の肖像を初め各方面團體がきつしり並ぶ。かくて定刻前、市歌奏樂に續き主席團の手により五色旗はセノター・ポール高く掲揚せられ、嚴肅裡に廈門特別市成立の宣言が讀み上げられ、次いで臨時維新政府行政委員會より廈門特別市長に任命された李思聲氏は壇上に立ち左の宣言を發した

### 李廈門特別市長の宣言

七月一日、廈門特別市政府成立の吉日に當り、廈門特別市長李思聲氏及び初代市長の人選の官命に當り本市政府は市民福祉の實現を方針として、全島一切の稅制が即刻廢され、再び曙光を探めて發展の途に午前十一時半市政府二階記元室を利用し力强き發足をなした廈門特別市政府成立の盛儀は閉ぢられた

### 祝辭に

引續き各團體總代理二名廈門市代表の白鴻と廈門の一友邦水戸にて關係るべからざる關係にある

### 水戸連絡部長官祝辭

のお言葉あらん事を祈り、盛會裡に式を終つた。

【廈門一日發本社支局特電】水戸興亞院廈門連絡部長官は本日從に廈門特別市政府成立の典儀を擧行せらるゝに當り盛大なる祝意を表し祝辭を述べた。

◇：本市の發展と市民の幸福增進に對し最大の努力を拂はんことを期す、而して友邦日本との交誼に於ては益々提携協力を圖ること日華協同の實を擧げ併て以て東亞永遠の平和確保に貢獻せむと欲する點より友邦及び同盟諸國並に諸團體と緊密なる連絡を圖らんことを望みて茲に宣言す

中華民國二十八年七月一日
廈門特別市長　李思聲

◇：日本帝國より新たに廈門特別市政府成立の典儀を擧行せらるゝに當り、衷心より祝意を表す。

◇：日本帝國と新たに廈門特別市政府との間に於ては、今や東亞永遠の平和確保に貢獻せむと欲する點より友邦及び同盟諸國並に諸團體と緊密なる連絡を圖らんことを望みて茲に宣言す

中華民國二十八年七月一日
廈門特別市長　李思聲

◇：自治一般協力態勢の確立を圖り、市政の發展を期し、市政の重要事項は必ず市參事會に諮詢し、以つて東亞新秩序建設の大業に邁進せられん事を、茲に切に所懷を述べるものである。

◇：南門市安維持會發足に際し、從來の經緯を顧み、市民の人選を以て、昨年三月十一日には廈門市民の要望により、治安維持會發足に際し、推戴された日より治安維持會發足に際し、推戴された日より治安維持會發足に際し、推戴された日より

# 獨波デ盃戰を觀る（上）

【ワルシャヴ廿日同盟發】去る五月下旬ワルソーの體育コートで行はれた獨逸對ポーランドのデ盃庭球戰は獨逸側選手の缺席と本國の戰時體制の緊張の折柄とて本當の戰爭を見る樣な感じを與へ更に更に一日も早く終結されたいとの聲が國民の間に擧つた、二日の雙打の試合の如きは全く戰場そのものゝ感じがした、ポーランドの國民はこの試合を通じて獨逸國民の敵愾心の凄まじさに驚いたと傳へてゐる

ポーランドの體育スポーツは全體に亙り未だ幼稚で、且つ文部省が殆りにこれが發展發達を企圖してゐる

從つて民衆といふものは一部のインテリ階級を除き殆んどルールは理解やうとも關心といふ程の關心もなく、日本の觀衆の如く現在の青年團の野球試合の如きでも見へば固唾を呑んで、この國では凡てのスポーツが興味本位娯樂中心である、一般にしてゐるのは觀衆であるが、これとて一般小中學生は唯ボールを追つて遊ぶだけで、觀衆といふ樣な事には慣れてゐない、國民休暇、試合の結果は二對一で獨逸の勝ちに歸したが、民衆も新聞も「これはスポーツだから獨逸が戰場に於いても我國にボ軍を破り得ないことを證明したものだ」とスポーツを政治に引摺つて思ひ上り氣味の自國を押付けてゐるなんでも獨逸をやつつけろといふのだから紳士スポーツの野球も觀衆が殺到してゐるのは當然だもスタンドの觀客に於ても同樣であつたが、獨逸の選手がボールを受けられた仕草だ、また敵對も再三のミスをやつてゐる、メンツエルがサーブした時ネットであつたことは何人の目にも映つたが觀衆はこれを認めない、相手方のトロチンスキーも不審さうに打返し觀衆に、二回の後ネット際から後に失敗したら觀衆は「只今のはネットでした」と判定した、シングル第二日メンツエル敗退し、ヘンケル代つて、ベプロスキーと對戰した、コートは定めて觀衆に押詰められてゐる、ヘンケルの一打は必ず相手の右死角を衝き明々白々なインであるが、ボールは他に一線をクヤキリと描けて流れたが、觀衆はアウトと言つた、また選手の强い一撃は彼等ライン上にあつたメンツエルの頭上に飛來した、何人もアウトと思つた、メンツエルはアウトですよといはんばかりの態度で暫く後向きを打返した、ボ選手も「しまつた」といふ樣に觀衆立つてゐるところへ、觀が揃つて來た、彼は强いて落着いたので戰はそのまま選手も心ある觀衆も疑はしい裁判で破けられたが、メ選手はこれを落してしまつた、メンツエルの負である、敵ながら觀衆の良き觀衆であつたと言ふべきものであらう

# 神宮國民體育大會
# 競技種目を發表
## 時局下に相應しい二部の新設

【東京一日發同盟】厚生省では昨十日同省會議室に關係官會議を開き十日から開かれる國民體育大會に參加される競技種目（全部二種目を除く）二十四種目を左の如く發表した、尚ほ二種目は

籠球、ラグビー、蹴球、庭球、ホツケー、水上、コート、野球、相撲、拳闘、自轉車、陸上競技、體操、銃劍術、劍道、弓道、相撲、競泳、飛込、水球、端艇競技、

である、尚ほ別途されたものの內若はれるのは學業力士の奉納相撲で新に加へられたものとしては初めての試みである

【東京一日發同盟】體育大會の實施種目は三十種目に決定したが、この外に參加人數の關係から參加を見合せた六大學の野球リーグ戰の優勝校參拜行軍競爭が新に加へられた

防衛總部の新設は月山學校をはじめ各種中等學校の參加に依り時局下に相應しい意義深いものである參加種目の內全國一齊體操は今回新定するべき大日本體育の採用を意圖して十一月三日を期して十一月三日まで十四日間外苑競技場を中心に銃後青年の意氣と國民體位向上の實態を擧げ出さんとするものである

# 本大會の白眉
## 全國一齊體操と
## 多摩御陵參拜行軍競爭

【東京一日發同盟】體育の秋を飾つて催さるる初の國民主體的行事たる第十回國民體育大會の實施種目は三十種目に決定されたが、この外に參加人數の關係から參加を見合せた六大學の野球リーグ戰の早慶戰は四日、慶應對法政戰は五日、東京六大學の早慶戰は六日、慶應對法政戰は七日、東京六大學の早慶戰は八日、慶應對法政戰は九日、東京六大學の早慶戰は十日、慶應對法政戰は十一日、東京六大學の早慶戰は十二日、慶應對法政戰は十三日、東京六大學の早慶戰は十四日、慶應對法政戰は十五日、東京六大學の早慶戰は十六日、慶應對法政戰は十七日、東京六大學の早慶戰は十八日、慶應對法政戰は十九日、東京六大學の早慶戰は二十日、慶應對法政戰は二十一日、東京六大學の早慶戰は二十二日、慶應對法政戰は二十三日、東京六大學の早慶戰は二十四日、慶應對法政戰は二十五日、東京六大學の早慶戰は二十六日、慶應對法政戰は二十七日、東京六大學の早慶戰は二十八日、慶應對法政戰は二十九日、東京六大學の早慶戰は三十日、慶應對法政戰は三十一日、東京六大學の早慶戰は三十二日、慶應對法政戰は三十三日、東京六大學の早慶戰は三十四日、慶應對法政戰は三十五日、東京六大學の早慶戰は三十六日、慶應對法政戰は三十七日、東京六大學の早慶戰は三十八日、慶應對法政戰は三十九日、東京六大學の早慶戰は四十日、慶應對法政戰は四十一日、東京六大學の早慶戰は四十二日、慶應對法政戰は四十三日、東京六大學の早慶戰は四十四日、慶應對法政戰は四十五日、東京六大學の早慶戰は四十六日、慶應對法政戰は四十七日、東京六大學の早慶戰は四十八日、慶應對法政戰は四十九日、東京六大學の早慶戰は五十日、慶應對法政戰は五十一日、東京六大學の早慶戰は五十二日、慶應對法政戰は五十三日、東京六大學の早慶戰は五十四日、慶應對法政戰は五十五日、東京六大學の早慶戰は五十六日、慶應對法政戰は五十七日、東京六大學の早慶戰は五十八日、慶應對法政戰は五十九日、東京六大學の早慶戰は六十日、慶應對法政戰は六十一日、東京六大學の早慶戰は六十二日、慶應對法政戰は六十三日、東京六大學の早慶戰は六十四日、慶應對法政戰は六十五日、東京六大學の早慶戰は六十六日、慶應對法政戰は六十七日、東京六大學の早慶戰は六十八日、慶應對法政戰は六十九日、東京六大學の早慶戰は七十日、慶應對法政戰は七十一日、東京六大學の早慶戰は七十二日、慶應對法政戰は七十三日、東京六大學の早慶戰は七十四日、慶應對法政戰は七十五日、東京六大學の早慶戰は七十六日、慶應對法政戰は七十七日、東京六大學の早慶戰は七十八日、慶應對法政戰は七十九日、東京六大學の早慶戰は八十日、慶應對法政戰は八十一日、東京六大學の早慶戰は八十二日、慶應對法政戰は八十三日、東京六大學の早慶戰は八十四日、慶應對法政戰は八十五日、東京六大學の早慶戰は八十六日、慶應對法政戰は八十七日、東京六大學の早慶戰は八十八日、慶應對法政戰は八十九日、東京六大學の早慶戰は九十日、慶應對法政戰は九十一日、東京六大學の早慶戰は九十二日、慶應對法政戰は九十三日、東京六大學の早慶戰は九十四日、慶應對法政戰は九十五日、東京六大學の早慶戰は九十六日、慶應對法政戰は九十七日、東京六大學の早慶戰は九十八日、慶應對法政戰は九十九日、東京六大學の早慶戰は百日、慶應對法政戰は百一日、東京六大學の早慶戰は百二日、慶應對法政戰は百三日、東京六大學の早慶戰は百四日、慶應對法政戰は百五日、東京六大學の早慶戰は百六日、慶應對法政戰は百七日、東京六大學の早慶戰は百八日、慶應對法政戰は百九日、東京六大學の早慶戰は百十日、慶應對法政戰は百十一日、東京六大學の早慶戰は百十二日、慶應對法政戰は百十三日、東京六大學の早慶戰は百十四日、慶應對法政戰は百十五日、東京六大學の早慶戰は百十六日、慶應對法政戰は百十七日、東京六大學の早慶戰は百十八日、慶應對法政戰は百十九日、東京六大學の早慶戰は百二十日、慶應對法政戰は百二十一日、東京六大學の早慶戰は百二十二日、慶應對法政戰は百二十三日、東京六大學の早慶戰は百二十四日、慶應對法政戰は百二十五日、東京六大學の早慶戰は百二十六日、慶應對法政戰は百二十七日、東京六大學の早慶戰は百二十八日、慶應對法政戰は百二十九日、東京六大學の早慶戰は百三十日、慶應對法政戰は百三十一日、東京六大學の早慶戰は百三十二日、慶應對法政戰は百三十三日、東京六大學の早慶戰は百三十四日、慶應對法政戰は百三十五日、東京六大學の早慶戰は百三十六日、慶應對法政戰は百三十七日、東京六大學の早慶戰は百三十八日、慶應對法政戰は百三十九日、東京六大學の早慶戰は百四十日、慶應對法政戰は百四十一日、東京六大學の早慶戰は百四十二日、慶應對法政戰は百四十三日、東京六大學の早慶戰は百四十四日、慶應對法政戰は百四十五日、東京六大學の早慶戰は百四十六日、慶應對法政戰は百四十七日、東京六大學の早慶戰は百四十八日、慶應對法政戰は百四十九日、東京六大學の早慶戰は百五十日、慶應對法政戰は百五十一日、東京六大學の早慶戰は百五十二日、慶應對法政戰は百五十三日、東京六大學の早慶戰は百五十四日、慶應對法政戰は百五十五日、東京六大學の早慶戰は百五十六日、慶應對法政戰は百五十七日、東京六大學の早慶戰は百五十八日、慶應對法政戰は百五十九日、東京六大學の早慶戰は百六十日、慶應對法政戰は百六十一日、東京六大學の早慶戰は百六十二日、慶應對法政戰は百六十三日、東京六大學の早慶戰は百六十四日、慶應對法政戰は百六十五日、東京六大學の早慶戰は百六十六日、慶應對法政戰は百六十七日、東京六大學の早慶戰は百六十八日、慶應對法政戰は百六十九日、東京六大學の早慶戰は百七十日、慶應對法政戰は百七十一日、東京六大學の早慶戰は百七十二日、慶應對法政戰は百七十三日、東京六大學の早慶戰は百七十四日、慶應對法政戰は百七十五日、東京六大學の早慶戰は百七十六日、慶應對法政戰は百七十七日、東京六大學の早慶戰は百七十八日、慶應對法政戰は百七十九日、東京六大學の早慶戰は百八十日、慶應對法政戰は百八十一日、東京六大學の早慶戰は百八十二日、慶應對法政戰は百八十三日、東京六大學の早慶戰は百八十四日、慶應對法政戰は百八十五日、東京六大學の早慶戰は百八十六日、慶應對法政戰は百八十七日、東京六大學の早慶戰は百八十八日、慶應對法政戰は百八十九日、東京六大學の早慶戰は百九十日、慶應對法政戰は百九十一日、東京六大學の早慶戰は百九十二日、慶應對法政戰は百九十三日、東京六大學の早慶戰は百九十四日、慶應對法政戰は百九十五日、東京六大學の早慶戰は百九十六日、慶應對法政戰は百九十七日、東京六大學の早慶戰は百九十八日、慶應對法政戰は百九十九日、東京六大學の早慶戰は二百日、慶應對法政戰は二百一日、東京六大學の早慶戰は二百二日、慶應對法政戰は二百三日、東京六大學の早慶戰は二百四日、慶應對法政戰は二百五日、東京六大學の早慶戰は二百六日、慶應對法政戰は二百七日、東京六大學の早慶戰は二百八日、慶應對法政戰は二百九日、東京六大學の早慶戰は二百十日、慶應對法政戰は二百十一日、東京六大學の早慶戰は二百十二日、慶應對法政戰は二百十三日、東京六大學の早慶戰は二百十四日、慶應對法政戰は二百十五日、東京六大學の早慶戰は二百十六日、慶應對法政戰は二百十七日、東京六大學の早慶戰は二百十八日、慶應對法政戰は二百十九日、東京六大學の早慶戰は二百二十日、慶應對法政戰は二百二十一日、東京六大學の早慶戰は二百二十二日、慶應對法政戰は二百二十三日、東京六大學の早慶戰は二百二十四日、慶應對法政戰は二百二十五日、東京六大學の早慶戰は二百二十六日、慶應對法政戰は二百二十七日、東京六大學の早慶戰は二百二十八日、慶應對法政戰は二百二十九日、東京六大學の早慶戰は二百三十日、慶應對法政戰は二百三十一日、東京六大學の早慶戰は二百三十二日、慶應對法政戰は二百三十三日、東京六大學の早慶戰は二百三十四日、慶應對法政戰は二百三十五日、東京六大學の早慶戰は二百三十六日、慶應對法政戰は二百三十七日、東京六大學の早慶戰は二百三十八日、慶應對法政戰は二百三十九日、東京六大學の早慶戰は二百四十日、慶應對法政戰は二百四十一日、東京六大學の早慶戰は二百四十二日、慶應對法政戰は二百四十三日、東京六大學の早慶戰は二百四十四日、慶應對法政戰は二百四十五日、東京六大學の早慶戰は二百四十六日、慶應對法政戰は二百四十七日、東京六大學の早慶戰は二百四十八日、慶應對法政戰は二百四十九日、東京六大學の早慶戰は二百五十日、慶應對法政戰は二百五十一日、東京六大學の早慶戰は二百五十二日、慶應對法政戰は二百五十三日、東京六大學の早慶戰は二百五十四日、慶應對法政戰は二百五十五日、東京六大學の早慶戰は二百五十六日、慶應對法政戰は二百五十七日、東京六大學の早慶戰は二百五十八日、慶應對法政戰は二百五十九日、東京六大學の早慶戰は二百六十日、慶應對法政戰は二百六十一日、東京六大學の早慶戰は二百六十二日、慶應對法政戰は二百六十三日、東京六大學の早慶戰は二百六十四日、慶應對法政戰は二百六十五日、東京六大學の早慶戰は二百六十六日、慶應對法政戰は二百六十七日、東京六大學の早慶戰は二百六十八日、慶應對法政戰は二百六十九日、東京六大學の早慶戰は二百七十日、慶應對法政戰は二百七十一日、東京六大學の早慶戰は二百七十二日、慶應對法政戰は二百七十三日、東京六大學の早慶戰は二百七十四日、慶應對法政戰は二百七十五日、東京六大學の早慶戰は二百七十六日、慶應對法政戰は二百七十七日、東京六大學の早慶戰は二百七十八日、慶應對法政戰は二百七十九日、東京六大學の早慶戰は二百八十日、慶應對法政戰は二百八十一日、東京六大學の早慶戰は二百八十二日、慶應對法政戰は二百八十三日、東京六大學の早慶戰は二百八十四日、慶應對法政戰は二百八十五日、東京六大學の早慶戰は二百八十六日、慶應對法政戰は二百八十七日、東京六大學の早慶戰は二百八十八日、慶應對法政戰は二百八十九日、東京六大學の早慶戰は二百九十日、慶應對法政戰は二百九十一日、東京六大學の早慶戰は二百九十二日、慶應對法政戰は二百九十三日、東京六大學の早慶戰は二百九十四日、慶應對法政戰は二百九十五日、東京六大學の早慶戰は二百九十六日、慶應對法政戰は二百九十七日、東京六大學の早慶戰は二百九十八日、慶應對法政戰は二百九十九日、東京六大學の早慶戰は三百日、慶應對法政戰は三百一日、東京六大學の早慶戰は三百二日、慶應對法政戰は三百三日、東京六大學の早慶戰は三百四日、慶應對法政戰は三百五日、東京六大學の早慶戰は三百六日、慶應對法政戰は三百七日、東京六大學の早慶戰は三百八日、慶應對法政戰は三百九日、東京六大學の早慶戰は三百十日、慶應對法政戰は三百十一日、東京六大學の早慶戰は三百十二日、慶應對法政戰は三百十三日、東京六大學の早慶戰は三百十四日、慶應對法政戰は三百十五日、東京六大學の早慶戰は三百十六日、慶應對法政戰は三百十七日、東京六大學の早慶戰は三百十八日、慶應對法政戰は三百十九日、東京六大學の早慶戰は三百二十日、慶應對法政戰は三百二十一日、東京六大學の早慶戰は三百二十二日、慶應對法政戰は三百二十三日、東京六大學の早慶戰は三百二十四日、慶應對法政戰は三百二十五日、東京六大學の早慶戰は三百二十六日、慶應對法政戰は三百二十七日、東京六大學の早慶戰は三百二十八日、慶應對法政戰は三百二十九日、東京六大學の早慶戰は三百三十日、慶應對法政戰は三百三十一日、東京六大學の早慶戰は三百三十二日、慶應對法政戰は三百三十三日、東京六大學の早慶戰は三百三十四日、慶應對法政戰は三百三十五日、東京六大學の早慶戰は三百三十六日、慶應對法政戰は三百三十七日、東京六大學の早慶戰は三百三十八日、慶應對法政戰は三百三十九日、東京六大學の早慶戰は三百四十日、慶應對法政戰は三百四十一日、東京六大學の早慶戰は三百四十二日、慶應對法政戰は三百四十三日、東京六大學の早慶戰は三百四十四日、慶應對法政戰は三百四十五日、東京六大學の早慶戰は三百四十六日、慶應對法政戰は三百四十七日、東京六大學の早慶戰は三百四十八日、慶應對法政戰は三百四十九日、東京六大學の早慶戰は三百五十日、慶應對法政戰は三百五十一日、東京六大學の早慶戰は三百五十二日、慶應對法政戰は三百五十三日、東京六大學の早慶戰は三百五十四日、慶應對法政戰は三百五十五日、東京六大學の早慶戰は三百五十六日、慶應對法政戰は三百五十七日、東京六大學の早慶戰は三百五十八日、慶應對法政戰は三百五十九日、東京六大學の早慶戰は三百六十日、慶應對法政戰は三百六十一日、東京六大學の早慶戰は三百六十二日、慶應對法政戰は三百六十三日、東京六大學の早慶戰は三百六十四日、慶應對法政戰は三百六十五日、東京六大學の早慶戰は三百六十六日、慶應對法政戰は三百六十七日、東京六大學の早慶戰は三百六十八日、慶應對法政戰は三百六十九日、東京六大學の早慶戰は三百七十日、慶應對法政戰は三百七十一日、東京六大學の早慶戰は三百七十二日、慶應對法政戰は三百七十三日、東京六大學の早慶戰は三百七十四日、慶應對法政戰は三百七十五日、東京六大學の早慶戰は三百七十六日、慶應對法政戰は三百七十七日、東京六大學の早慶戰は三百七十八日、慶應對法政戰は三百七十九日、東京六大學の早慶戰は三百八十日、慶應對法政戰は三百八十一日、東京六大學の早慶戰は三百八十二日、慶應對法政戰は三百八十三日、東京六大學の早慶戰は三百八十四日、慶應對法政戰は三百八十五日、東京六大學の早慶戰は三百八十六日、慶應對法政戰は三百八十七日、東京六大學の早慶戰は三百八十八日、慶應對法政戰は三百八十九日、東京六大學の早慶戰は三百九十日、慶應對法政戰は三百九十一日、東京六大學の早慶戰は三百九十二日、慶應對法政戰は三百九十三日、東京六大學の早慶戰は三百九十四日、慶應對法政戰は三百九十五日、東京六大學の早慶戰は三百九十六日、慶應對法政戰は三百九十七日、東京六大學の早慶戰は三百九十八日、慶應對法政戰は三百九十九日、東京六大學の早慶戰は四百日、慶應對法政戰は四百一日、東京六大學の早慶戰は四百二日、慶應對法政戰は四百三日、東京六大學の早慶戰は四百四日、慶應對法政戰は四百五日、東京六大學の早慶戰は四百六日、慶應對法政戰は四百七日、東京六大學の早慶戰は四百八日、慶應對法政戰は四百九日、東京六大學の早慶戰は四百十日、慶應對法政戰は四百十一日、東京六大學の早慶戰は四百十二日、慶應對法政戰は四百十三日、東京六大學の早慶戰は四百十四日、慶應對法政戰は四百十五日、東京六大學の早慶戰は四百十六日、慶應對法政戰は四百十七日、東京六大學の早慶戰は四百十八日、慶應對法政戰は四百十九日、東京六大學の早慶戰は四百二十日、慶應對法政戰は四百二十一日、東京六大學の早慶戰は四百二十二日、慶應對法政戰は四百二十三日、東京六大學の早慶戰は四百二十四日、慶應對法政戰は四百二十五日、東京六大學の早慶戰は四百二十六日、慶應對法政戰は四百二十七日、東京六大學の早慶戰は四百二十八日、慶應對法政戰は四百二十九日、東京六大學の早慶戰は四百三十日、慶應對法政戰は四百三十一日、東京六大學の早慶戰は四百三十二日、慶應對法政戰は四百三十三日、東京六大學の早慶戰は四百三十四日、慶應對法政戰は四百三十五日、東京六大學の早慶戰は四百三十六日、慶應對法政戰は四百三十七日、東京六大學の早慶戰は四百三十八日、慶應對法政戰は四百三十九日、東京六大學の早慶戰は四百四十日、慶應對法政戰は四百四十一日、東京六大學の早慶戰は四百四十二日、慶應對法政戰は四百四十三日、東京六大學の早慶戰は四百四十四日、慶應對法政戰は四百四十五日、東京六大學の早慶戰は四百四十六日、慶應對法政戰は四百四十七日、東京六大學の早慶戰は四百四十八日、慶應對法政戰は四百四十九日、東京六大學の早慶戰は四百五十日、慶應對法政戰は四百五十一日、東京六大學の早慶戰は四百五十二日、慶應對法政戰は四百五十三日、東京六大學の早慶戰は四百五十四日、慶應對法政戰は四百五十五日、東京六大學の早慶戰は四百五十六日、慶應對法政戰は四百五十七日、東京六大學の早慶戰は四百五十八日、慶應對法政戰は四百五十九日、東京六大學の早慶戰は四百六十日、慶應對法政戰は四百六十一日、東京六大學の早慶戰は四百六十二日、慶應對法政戰は四百六十三日、東京六大學の早慶戰は四百六十四日、慶應對法政戰は四百六十五日、東京六大學の早慶戰は四百六十六日、慶應對法政戰は四百六十七日、東京六大學の早慶戰は四百六十八日、慶應對法政戰は四百六十九日、東京六大學の早慶戰は四百七十日、慶應對法政戰は四百七十一日、東京六大學の早慶戰は四百七十二日、慶應對法政戰は四百七十三日、東京六大學の早慶戰は四百七十四日、慶應對法政戰は四百七十五日、東京六大學の早慶戰は四百七十六日、慶應對法政戰は四百七十七日、東京六大學の早慶戰は四百七十八日、慶應對法政戰は四百七十九日、東京六大學の早慶戰は四百八十日、慶應對法政戰は四百八十一日、東京六大學の早慶戰は四百八十二日、慶應對法政戰は四百八十三日、東京六大學の早慶戰は四百八十四日、慶應對法政戰は四百八十五日、東京六大學の早慶戰は四百八十六日、慶應對法政戰は四百八十七日、東京六大學の早慶戰は四百八十八日、慶應對法政戰は四百八十九日、東京六大學の早慶戰は四百九十日、慶應對法政戰は四百九十一日、東京六大學の早慶戰は四百九十二日、慶應對法政戰は四百九十三日、東京六大學の早慶戰は四百九十四日、慶應對法政戰は四百九十五日、東京六大學の早慶戰は四百九十六日、慶應對法政戰は四百九十七日、東京六大學の早慶戰は四百九十八日、慶應對法政戰は四百九十九日、東京六大學の早慶戰は五百日、慶應對法政戰は五百一日、東京六大學の早慶戰は五百二日、慶應對法政戰は五百三日、東京六大學の早慶戰は五百四日、慶應對法政戰は五百五日、東京六大學の早慶戰は五百六日、慶應對法政戰は五百七日、東京六大學の早慶戰は五百八日、慶應對法政戰は五百九日、東京六大學の早慶戰は五百十日、慶應對法政戰は五百十一日、東京六大學の早慶戰は五百十二日、慶應對法政戰は五百十三日、東京六大學の早慶戰は五百十四日、慶應對法政戰は五百十五日、東京六大學の早慶戰は五百十六日、慶應對法政戰は五百十七日、東京六大學の早慶戰は五百十八日、慶應對法政戰は五百十九日、東京六大學の早慶戰は五百二十日、慶應對法政戰は五百二十一日、東京六大學の早慶戰は五百二十二日、慶應對法政戰は五百二十三日、東京六大學の早慶戰は五百二十四日、慶應對法政戰は五百二十五日、東京六大學の早慶戰は五百二十六日、慶應對法政戰は五百二十七日、東京六大學の早慶戰は五百二十八日、慶應對法政戰は五百二十九日、東京六大學の早慶戰は五百三十日、慶應對法政戰は五百三十一日、東京六大學の早慶戰は五百三十二日、慶應對法政戰は五百三十三日、東京六大學の早慶戰は五百三十四日、慶應對法政戰は五百三十五日、東京六大學の早慶戰は五百三十六日、慶應對法政戰は五百三十七日、東京六大學の早慶戰は五百三十八日、慶應對法政戰は五百三十九日、東京六大學の早慶戰は五百四十日、慶應對法政戰は五百四十一日、東京六大學の早慶戰は五百四十二日、慶應對法政戰は五百四十三日、東京六大學の早慶戰は五百四十四日、慶應對法政戰は五百四十五日、東京六大學の早慶戰は五百四十六日、慶應對法政戰は五百四十七日、東京六大學の早慶戰は五百四十八日、慶應對法政戰は五百四十九日、東京六大學の早慶戰は五百五十日、慶應對法政戰は五百五十一日、東京六大學の早慶戰は五百五十二日、慶應對法政戰は五百五十三日、東京六大學の早慶戰は五百五十四日、慶應對法政戰は五百五十五日、東京六大學の早慶戰は五百五十六日、慶應對法政戰は五百五十七日、東京六大學の早慶戰は五百五十八日、慶應對法政戰は五百五十九日、東京六大學の早慶戰は五百六十日、慶應對法政戰は五百六十一日、東京六大學の早慶戰は五百六十二日、慶應對法政戰は五百六十三日、東京六大學の早慶戰は五百六十四日、慶應對法政戰は五百六十五日、東京六大學の早慶戰は五百六十六日、慶應對法政戰は五百六十七日、東京六大學の早慶戰は五百六十八日、慶應對法政戰は五百六十九日、東京六大學の早慶戰は五百七十日、慶應對法政戰は五百七十一日、東京六大學の早慶戰は五百七十二日、慶應對法政戰は五百七十三日、東京六大學の早慶戰は五百七十四日、慶應對法政戰は五百七十五日、東京六大學の早慶戰は五百七十六日、慶應對法政戰は五百七十七日、東京六大學の早慶戰は五百七十八日、慶應對法政戰は五百七十九日、東京六大學の早慶戰は五百八十日、慶應對法政戰は五百八十一日、東京六大學の早慶戰は五百八十二日、慶應對法政戰は五百八十三日、東京六大學の早慶戰は五百八十四日、慶應對法政戰は五百八十五日、東京六大學の早慶戰は五百八十六日、慶應對法政戰は五百八十七日、東京六大學の早慶戰は五百八十八日、慶應對法政戰は五百八十九日、東京六大學の早慶戰は五百九十日、慶應對法政戰は五百九十一日、東京六大學の早慶戰は五百九十二日、慶應對法政戰は五百九十三日、東京六大學の早慶戰は五百九十四日、慶應對法政戰は五百九十五日、東京六大學の早慶戰は五百九十六日、慶應對法政戰は五百九十七日、東京六大學の早慶戰は五百九十八日、慶應對法政戰は五百九十九日、東京六大學の早慶戰は六百日、慶應對法政戰は六百一日、東京六大學の早慶戰は六百二日、慶應對法政戰は六百三日、東京六大學の早慶戰は六百四日、慶應對法政戰は六百五日、東京六大學の早慶戰は六百六日、慶應對法政戰は六百七日、東京六大學の早慶戰は六百八日、慶應對法政戰は六百九日、東京六大學の早慶戰は六百十日、慶應對法政戰は六百十一日、東京六大學の早慶戰は六百十二日、慶應對法政戰は六百十三日、東京六大學の早慶戰は六百十四日、慶應對法政戰は六百十五日、東京六大學の早慶戰は六百十六日、慶應對法政戰は六百十七日、東京六大學の早慶戰は六百十八日、慶應對法政戰は六百十九日、東京六大學の早慶戰は六百二十日、慶應對法政戰は六百二十一日、東京六大學の早慶戰は六百二十二日、慶應對法政戰は六百二十三日、東京六大學の早慶戰は六百二十四日、慶應對法政戰は六百二十五日、東京六大學の早慶戰は六百二十六日、慶應對法政戰は六百二十七日、東京六大學の早慶戰は六百二十八日、慶應對法政戰は六百二十九日、東京六大學の早慶戰は六百三十日、慶應對法政戰は六百三十一日、東京六大學の早慶戰は六百三十二日、慶應對法政戰は六百三十三日、東京六大學の早慶戰は六百三十四日、慶應對法政戰は六百三十五日、東京六大學の早慶戰は六百三十六日、慶應對法政戰は六百三十七日、東京六大學の早慶戰は六百三十八日、慶應對法政戰は六百三十九日、東京六大學の早慶戰は六百四十日、慶應對法政戰は六百四十一日、東京六大學の早慶戰は六百四十二日、慶應對法政戰は六百四十三日、東京六大學の早慶戰は六百四十四日、慶應對法政戰は六百四十五日、東京六大學の早慶戰は六百四十六日、慶應對法政戰は六百四十七日、東京六大學の早慶戰は六百四十八日、慶應對法政戰は六百四十九日、東京六大學の早慶戰は六百五十日、慶應對法政戰は六百五十一日、東京六大學の早慶戰は六百五十二日、慶應對法政戰は六百五十三日、東京六大學の早慶戰は六百五十四日、慶應對法政戰は六百五十五日、東京六大學の早慶戰は六百五十六日、慶應對法政戰は六百五十七日、東京六大學の早慶戰は六百五十八日、慶應對法政戰は六百五十九日、東京六大學の早慶戰は六百六十日、慶應對法政戰は六百六十一日、東京六大學の早慶戰は六百六十二日、慶應對法政戰は六百六十三日、東京六大學の早慶戰は六百六十四日、慶應對法政戰は六百六十五日、東京六大學の早慶戰は六百六十六日、慶應對法政戰は六百六十七日、東京六大學の早慶戰は六百六十八日、慶應對法政戰は六百六十九日、東京六大學の早慶戰は六百七十日、慶應對法政戰は六百七十一日、東京六大學の早慶戰は六百七十二日、慶應對法政戰は六百七十三日、東京六大學の早慶戰は六百七十四日、慶應對法政戰は六百七十五日、東京六大學の早慶戰は六百七十六日、慶應對法政戰は六百七十七日、東京六大學の早慶戰は六百七十八日、慶應對法政戰は六百七十九日、東京六大學の早慶戰は六百八十日、慶應對法政戰は六百八十一日、東京六大學の早慶戰は六百八十二日、慶應對法政戰は六百八十三日、東京六大學の早慶戰は六百八十四日、慶應對法政戰は六百八十五日、東京六大學の早慶戰は六百八十六日、慶應對法政戰は六百八十七日、東京六大學の早慶戰は六百八十八日、慶應對法政戰は六百八十九日、東京六大學の早慶戰は六百九十日、慶應對法政戰は六百九十一日、東京六大學の早慶戰は六百九十二日、慶應對法政戰は六百九十三日、東京六大學の早慶戰は六百九十四日、慶應對法政戰は六百九十五日、東京六大學の早慶戰は六百九十六日、慶應對法政戰は六百九十七日、東京六大學の早慶戰は六百九十八日、慶應對法政戰は六百九十九日、東京六大學の早慶戰は七百日、慶應對法政戰は七百一日、東京六大學の早慶戰は七百二日、慶應對法政戰は七百三日、東京六大學の早慶戰は七百四日、慶應對法政戰は七百五日、東京六大學の早慶戰は七百六日、慶應對法政戰は七百七日、東京六大學の早慶戰は七百八日、慶應對法政戰は七百九日、東京六大學の早慶戰は七百十日、慶應對法政戰は七百十一日、東京六大學の早慶戰は七百十二日、慶應對法政戰は七百十三日、東京六大學の早慶戰は七百十四日、慶應對法政戰は七百十五日、東京六大學の早慶戰は七百十六日、慶應對法政戰は七百十七日、東京六大學の早慶戰は七百十八日、慶應對法政戰は七百十九日、東京六大學の早慶戰は七百二十日、慶應對法政戰は七百二十一日、東京六大學の早慶戰は七百二十二日、慶應對法政戰は七百二十三日、東京六大學の早慶戰は七百二十四日、慶應對法政戰は七百二十五日、東京六大學の早慶戰は七百二十六日、慶應對法政戰は七百二十七日、東京六大學の早慶戰は七百二十八日、慶應對法政戰は七百二十九日、東京六大學の早慶戰は七百三十日、慶應對法政戰は七百三十一日、東京六大學の早慶戰は七百三十二日、慶應對法政戰は七百三十三日、東京六大學の早慶戰は七百三十四日、慶應對法政戰は七百三十五日、東京六大學の早慶戰は七百三十六日、慶應對法政戰は七百三十七日、東京六大學の早慶戰は七百三十八日、慶應對法政戰は七百三十九日、東京六大學の早慶戰は七百四十日、慶應對法政戰は七百四十一日、東京六大學の早慶戰は七百四十二日、慶應對法政戰は七百四十三日、東京六大學の早慶戰は七百四十四日、慶應對法政戰は七百四十五日、東京六大學の早慶戰は七百四十六日、慶應對法政戰は七百四十七日、東京六大學の早慶戰は七百四十八日、慶應對法政戰は七百四十九日、東京六大學の早慶戰は七百五十日、慶應對法政戰は七百五十一日、東京六大學の早慶戰は七百五十二日、慶應對法政戰は七百五十三日、東京六大學の早慶戰は七百五十四日、慶應對法政戰は七百五十五日、東京六大學の早慶戰は七百五十六日、慶應對法政戰は七百五十七日、東京六大學の早慶戰は七百五十八日、慶應對法政戰は七百五十九日、東京六大學の早慶戰は七百六十日、慶應對法政戰は七百六十一日、東京六大學の早慶戰は七百六十二日、慶應對法政戰は七百六十三日、東京六大學の早慶戰は七百六十四日、慶應對法政戰は七百六十五日、東京六大學の早慶戰は七百六十六日、慶應對法政戰は七百六十七日、東京六大學の早慶戰は七百六十八日、慶應對法政戰は七百六十九日、東京六大學の早慶戰は七百七十日、慶應對法政戰は七百七十一日、東京六大學の早慶戰は七百七十二日、慶應對法政戰は七百七十三日、東京六大學の早慶戰は七百七十四日、慶應對法政戰は七百七十五日、東京六大學の早慶戰は七百七十六日、慶應對法政戰は七百七十七日、東京六大學の早慶戰は七百七十八日、慶應對法政戰は七百七十九日、東京六大學の早慶戰は七百八十日、慶應對法政戰は七百八十一日、東京六大學の早慶戰は七百八十二日、慶應對法政戰は七百八十三日、東京六大學の早慶戰は七百八十四日、慶應對法政戰は七百八十五日、東京六大學の早慶戰は七百八十六日、慶應對法政戰は七百八十七日、東京六大學の早慶戰は七百八十八日、慶應對法政戰は七百八十九日、東京六大學の早慶戰は七百九十日、慶應對法政戰は七百九十一日、東京六大學の早慶戰は七百九十二日、慶應對法政戰は七百九十三日、東京六大學の早慶戰は七百九十四日、慶應對法政戰は七百九十五日、東京六大學の早慶戰は七百九十六日、慶應對法政戰は七百九十七日、東京六大學の早慶戰は七百九十八日、慶應對法政戰は七百九十九日、東京六大學の早慶戰は八百日、慶應對法政戰は八百一日、東京六大學の早慶戰は八百二日、慶應對法政戰は八百三日、東京六大學の早慶戰は八百四日、慶應對法政戰は八百五日、東京六大學の早慶戰は八百六日、慶應對法政戰は八百七日、東京六大學の早慶戰は八百八日、慶應對法政戰は八百九日、東京六大學の早慶戰は八百十日、慶應對法政戰は八百十一日、東京六大學の早慶戰は八百十二日、慶應對法政戰は八百十三日、東京六大學の早慶戰は八百十四日、慶應對法政戰は八百十五日、東京六大學の早慶戰は八百十六日、慶應對法政戰は八百十七日、東京六大學の早慶戰は八百十八日、慶應對法政戰は八百十九日、東京六大學の早慶戰は八百二十日、慶應對法政戰は八百二十一日、東京六大學の早慶戰は八百二十二日、慶應對法政戰は八百二十三日、東京六大學の早慶戰は八百二十四日、慶應對法政戰は八百二十五日、東京六大學の早慶戰は八百二十六日、慶應對法政戰は八百二十七日、東京六大學の早慶戰は八百二十八日、慶應對法政戰は八百二十九日、東京六大學の早慶戰は八百三十日、慶應對法政戰は八百三十一日、東京六大學の早慶戰は八百三十二日、慶應對法政戰は八百三十三日、東京六大學の早慶戰は八百三十四日、慶應對法政戰は八百三十五日、東京六大學の早慶戰は八百三十六日、慶應對法政戰は八百三十七日、東京六大學の早慶戰は八百三十八日、慶應對法政戰は八百三十九日、東京六大學の早慶戰は八百四十日、慶應對法政戰は八百四十一日、東京六大學の早慶戰は八百四十二日、慶應對法政戰は八百四十三日、東京六大學の早慶戰は八百四十四日、慶應對法政戰は八百四十五日、東京六大學の早慶戰は八百四十六日、慶應對法政戰は八百四十七日、東京六大學の早慶戰は八百四十八日、慶應對法政戰は八百四十九日、東京六大學